
2015-2013年度生

CONTENTS

| | |
|------------------------------|----|
| 全学共通教養教育科目の目的 | 1 |
| 全学共通教養教育科目とは | 2 |
| 全学共通教養教育科目の「科目群」と「科目」 | |
| 同志社科目群 | 3 |
| キャリア形成支援科目群 | 3 |
| 国際教養科目群 | 4 |
| 人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目 | 9 |
| 先端・複合領域科目 | 9 |
| 保健体育科目 | 9 |
| 同志社データサイエンス・AI教育プログラム（DDASH） | 10 |
| 全学共通教養教育科目の履修について | 12 |
| 全学共通教養教育科目 登録・受講にあたっての注意 | 12 |
| 全学共通教養教育科目 開講科目 | 15 |
| 開講科目一覧表の見方について | 15 |
| 全学共通教養教育カリキュラム・ポリシー | 33 |

◆ 重 要 ◆

◆修得した単位の取扱い（卒業必要単位への算入方法など）は、学部によって異なります。また、登録にあたって、個別の条件が付加される場合がありますので、所属学部・学年の『履修要項』を参照し、十分に理解した上で登録してください。

全学共通教養教育科目の目的

同志社大学は、「良心を手腕に運用する人物の育成」すなわち「良心教育」という建学の精神のもとに、「キリスト教主義」「自由主義（自治自立の精神）」「国際主義」という3つの教育理念を掲げている。さらにこの理念に基づいて5つの教育目標を定め、本学が育成すべき資質を明確にしている。すなわち「高い倫理観と豊かな人間性の育成」、「自治自立の精神と行動力の育成」、「生涯を通じて社会に貢献する精神と行動力の育成」、「国際社会に対応できる語学力と行動力の育成」及び「寛容な精神の育成」である。これらの理念と目標は、人間としての総合力（知・徳・体のバランス）に優れた人物の育成を目指している。そのため全学に共通する基礎的・専門横断的な科目、「全学共通教養教育科目」を開設している。

人はさまざまな形で教養を得ていく。教養が知識や技能を修得し行使する際に形成されていく「ものの見方」や「考え方」あるいは「価値観」の総体だとするならば、専門的な学術体系にはじめて接する大学時代こそ、学生が教養へと向かう第一歩である。またこの知識・技能を支えていく基盤となるのが、心と身体への適切な配慮、深い倫理性と感性、主体的な行動力とバランス感覚であることはいうまでもない。だが社会に目を向ければ、学生は急激な社会構造の変化、グローバル化の進展に直面し、大学においても学問や科学技術の高度な専門化、細分化に向き合っている。現代社会はさらなる資質、能力を求めている。

現代の大学生にまず求められるのは、それぞれの学問分野に特有な発想や方法の基礎を理解し、同時にさまざまな学問分野の発想や方法があることを知る、つまり一方に偏することのない広い視野を確保することである。そのためには、学生が複数の学問系を経験すること、つまりある事象に対して複数のアプローチが可能であることを知る必要がある。自分の専攻分野とは異なる分野を学び、物事を多角的な視点から見る力を養うことによって、新しい価値の創造を試みることができるようである。さらに求められるのは、大学時代に外国語運用を含めたコミュニケーション能力を十分に獲得しておくことである。グローバル化した社会では、異文化理解やその基礎となる外国語運用力はもちろんのこと、日本の伝統、文化、歴史、自然を理解することが必要となる。自らを知り、異なる文化や価値についても理解し、互いに尊重し合える人物こそが、真の意味でのコミュニケーションを行えるからである。またさらには現代社会特有の現象といえる情報過多に向き合い、その真偽を判断する能力も必須の教養となる。

こうした現代的教養を目指して開設された「全学共通教養教育科目」は、本学においては特別な意味をもっている。確かに学生はそれぞれの専門科目の履修によって専門的知見を修得していく。しかしその過程では、おのおのの専門的知見が広く人間社会において持っている意義を確認することも必要となる。そのための有効な手だては、本学の教育理念・教育目標に立ち返りながら、全学共通教養教育科目を学ぶことである。すなわちそれぞれの専門性を、諸学の基礎的な、専門横断的な立場から再認識してみることである。この意味で専門教育科目と全学共通教養教育科目は、互いに排除しあうものではなく、むしろ補充し合う関係にある。

具体的には、学生は全学に共通する教養教育科目を四年間に亘り、系統的に履修することが望ましい。体系的・段階的履修によってこそ、学生は多様な学問分野への関心を抱きながら、主体的学習を進め成長することができる。学生は各人の志向に応じて、専門教育科目と全学共通教養教育科目の両者を総合していく。それによってはじめて、それぞれが良心を手腕に運用しながら、同時に知識・技能をもって社会に貢献する人物へと成長していくのである。

全学共通教養教育科目とは

全学共通教養教育科目とは、すべての学部学生を対象とした共通の教養教育科目のことです。全学共通教養教育科目では、本学の建学の精神である「良心教育」を、「キリスト教主義」「自由主義（自治自立の精神）」「国際主義」という3つの教育理念に基づき、リベラルアーツ教育の伝統を受け継ぎながら現代において展開しており、幅広い学問分野にわたり、充実した科目を開設しています。

全学共通教養教育科目に関するホームページ <https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/>



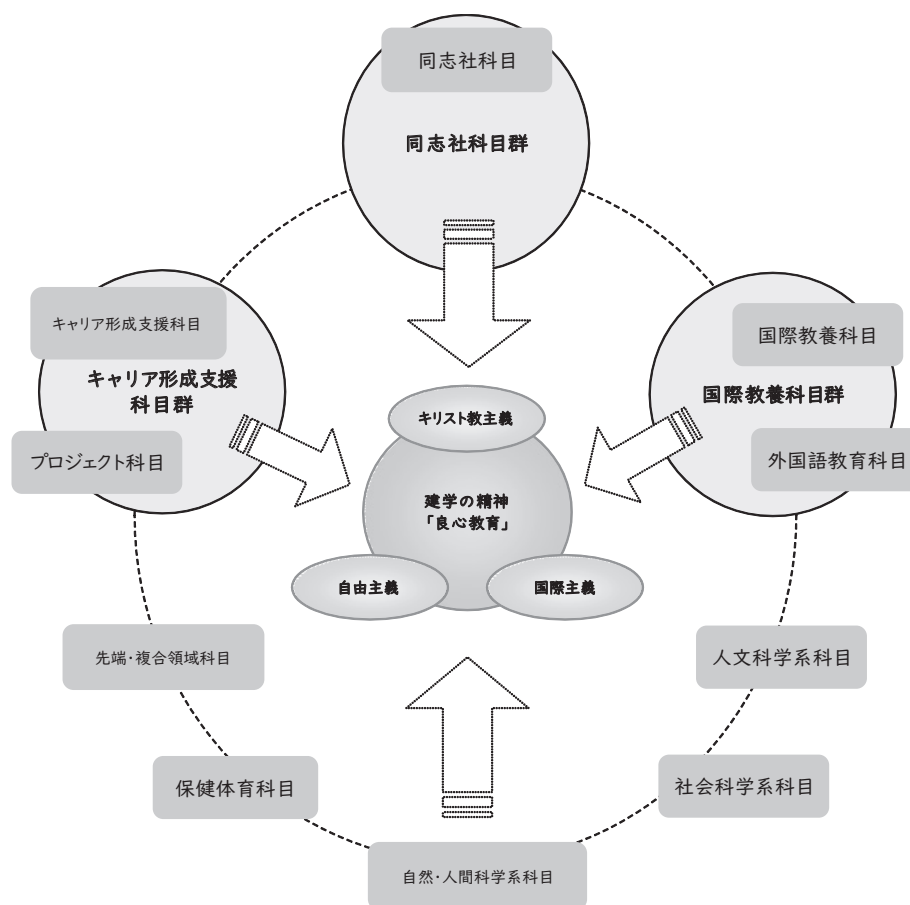
全学共通教養教育科目の科目群と科目

全学共通教養教育科目には「科目群」と「科目」というグループ分けがあります。

「科目群」には「同志社科目群」、「キャリア形成支援科目群」、「国際教養科目群」の3つがあり、それぞれ、全学共通教養教育科目の中で「建学の精神、新島襄、キリスト教」、「自己形成、キャリア形成」、「異文化理解、外国語」に関連する科目をピックアップしてわかりやすくまとめ、体系的に履修することができるようにしたものです。

「科目」は、全学共通教養教育科目のすべての科目を特性や分野ごとに「〇〇科目」という名称でグループ分けしたものです。

同志社大学 全学共通教養教育科目イメージ図



同志社科目群

同志社大学で学ぶ皆さんの中には、本学の成り立ちや教育理念のひとつであるキリスト教についてほとんど学ぶことのないまま卒業する方がいるかも知れません。混迷の様相を増している現代社会において、「キリスト教的人間観から醸成される他人への優しさと、安易に人に左右されない信念と独立心を持った自治自立の人物を養成する」という本学の良心教育の精神は、きっと皆さんの将来を豊かにかつ有意義なものに導いてくれるはずです。

「同志社科目群」は、全学共通教養教育科目の中で「建学の精神」やキリスト教について学ぶ科目をピックアップしてわかりやすくまとめ、履修計画を立てやすいようにしたものです。

「同志社科目群」は以下の2つに分類されます。

○基礎科目

建学の精神の基本を学ぶ入門科目

○展開科目

建学の精神を詳しく学ぶ発展的な科目及び建学の精神に広く関連する科目で、キリスト教思想の根本や歴史などをより深く学ぶ科目

ぜひとも「同志社科目群」の履修を通じ新島襄先生の高遠な思想に触れていただき、そして「同志社人」としてのアイデンティティと誇りをもって巣立っていかれることを願っています。

同志社科目群一覧表

| | 配当年次 | 科目名 | 単位 | 科目区分 |
|------------|---------------------|----------------|-----------|-------|
| 基礎科目 | 1～ | 建学の精神とキリスト教 | 2 | 同志社科目 |
| | 展開科目 | 1～ | キリスト教と人間1 | 2 |
| キリスト教と人間2 | | | | |
| キリスト教とは何か1 | | | | |
| キリスト教とは何か2 | | | | |
| 1～ | | キリスト教会と現代文化 | 2 | |
| | | 人物から学ぶキリスト教の歴史 | | |
| | | キリスト教の歴史と同志社 | | |
| 1～ | 同志社の歴史(2014年度以降生のみ) | 2 | | |
| 1～ | 宗教学(1) | 2 | 人文科学系科目 | |
| | 宗教学(2) | | | |

※「同志社科目群」を履修するのに特別な申請は必要ありません。通常の手続きどおり先行登録(科目による)、科目登録等を行ってください。先行登録が必要な科目及び手続き方法については、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

キャリア形成支援科目群

キャリアとは、狭い意味では職業生活に関することを指しますが、広い意味においては、人生の生き方そのものをいいます。

本学では、全学共通教養教育科目として「キャリア形成支援科目群」と「キャリア形成支援科目」を提供しています。

「キャリア形成支援科目群」とは、全学共通教養教育科目の中で、キャリア形成に関連する科目を体系的な履修奨励のためにピックアップしてわかりやすくまとめたものです。

「キャリア形成支援科目群」は、職業生活を中心にして、ライフプランニングから働く意識の醸成、人生観の養成まで扱う「キャリア形成支援科目」と、自分で自分の人生を設計する能力を身に付ける「プロジェクト科目」から構成されています。「キャリア形成支援科目群」の履修を通じて、人生のイメージを描き、自分で自分の人生を選んでいける自治自立の精神を身に付けていただきたいと思います。

「キャリア形成支援科目群」は以下の2つに分類されます。

○基礎科目

キャリア形成の啓発的科目で、基本的事項を学ぶ科目

○展開科目

基礎科目の発展的科目で、キャリア形成に関して実践的に、もしくは深く学ぶ科目

自己発見、自己形成により充実した幸せな人生を送るため、積極的に履修していただくことを期待しています。

キャリア形成支援科目群一覧表

| | 配当年次 | 科目名 | 単位 | 科目区分 |
|------|--------------|----------------------------------|---------|----------|
| 基礎科目 | 1～ | キャリア開発と学生生活 | 2 | キャリア形成 |
| | 1～ | キャリア開発の課題と方法 | 2 | |
| | 1～ | 労働市場の動向とキャリア形成 | 2 | |
| | 1・2のみ | インターンシップ入門 | 2 | |
| | 1～ | メガトレンドを読む | 2 | |
| | 1～ | SDGsで考える社会課題とキャリア形成(2014年度以降生のみ) | 2 | |
| | 展開科目 | 2～ | 働くということ | |
| 1～ | | キャリア形成とインターンシップ(*) | 2 | キャリア形成 |
| 2～ | | プロジェクト科目1 | 2 | プロジェクト科目 |
| | プロジェクト科目2(*) | | | |

*クラスにより配当年次が異なる。開講科目一覧表を参照すること。

※「キャリア形成支援科目群」を履修するには特別な申請は必要ありません。通常の手続きどおり先行登録(科目による)、科目登録等を行ってください。先行登録が必要な科目及び手続き方法については、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

プロジェクト科目 2024年度で廃止

「プロジェクト科目」は、教員が知識を伝授する座学の講義スタイルとは異なり、学生自らが構想・計画をし、ディスカッションを重ねながら、行動するという、実践型・参加型スタイルの授業です。企業や地域社会の方々から提案されたテーマをもとに、現場の生きた知恵や技術、そしてマネジメント・サイクルを学び、プロジェクトの立ち上げから完成までの一連のプロセスに主体的に関わりながら、実践的な問題発見・解決能力—社会を生き抜く力—を身に付けます。この科目は、現場の第一線で働く社会経験豊かな方々と本学の専任教員によって運営されるのが特長です。

なお、この科目は学外での活動も多く想定されますので、通常の科目とは違い、時間割や活動場所などいろいろな制約があります。しかし、この科目で培われたスキルは、今後かけがえのない財産となるはずです。

国際教養科目群

現代は国境を越えた多面的な交流が急速に進行するグローバル化の時代であり、豊富な知識を持って多様な価値観を互いに認め合い、異なる民族や文化に属する人々と協力しながら、未来を切り拓いていく人材が求められています。国際社会で活躍するためには、以下のような素養を身に付けることが必要であると考えます。

- ①現在の世界の諸相を理解するための豊かな知識
- ②積極的に異文化を理解し異文化に触れようとする姿勢
- ③外国語による卓越したコミュニケーション能力
- ④国際社会における諸課題の認識及び分析と解決能力
- ⑤日本と世界の近現代史及び世界の諸宗教についての十分な理解力
- ⑥日本の伝統・現代文化の知識と理解

本学では、以上を身に付けた実践力のある人材を育成するために、全学共通教養教育科目として「国際教養科目」を提供しています。そして、国際教養に関連する科目の体系的な履修を奨励するために、「外国語教育科目」を含んだ①～⑥に関連する全学共通教養教育科目をピックアップして「国際教養科目群」として明示しています。

「国際教養科目群」は、異文化及び日本文化を理解する科目である「国際教養科目」と、外国語運用能力・コミュニケーション能力を養成する「外国語教育科目」で構成されており、バランスよく国際感覚を身に付けることを目標としています。「国際教養科目」には、外国語で授業が行われる科目や、受入留学生とともに学ぶ科目などが用意されており、留学を疑似体験することが可能となっています。また、「外国語教育科目」には、実際に海外の大学に短期間留学し、身に付けた国際教養を実践できる科目が用意されています。

国際社会で活躍できる人材の養成は、「国際主義」を教育理念のひとつとする本学に課せられた重要な社会的使命でもあります。ぜひ、積極的に履修してください。

「国際教養科目群」は以下の3つに分類されます。

○基礎科目

異文化に関する基本を学ぶ科目、「外国語教育科目」のうち留学を伴わない科目

○展開科目

異文化に関して深く学ぶ科目、「ことば」や国際社会に関して深く学ぶ科目

○留学関連科目

海外留学を伴う科目や受入留学生との合同授業で、外国語運用能力及び異文化理解を実践する科目

※「国際教養基礎論Ⅰ・Ⅱ」、「比較言語文化論Ⅰ・Ⅱ」、「地域言語文化論Ⅰ・Ⅱ」、「メタ言語文化論Ⅰ・Ⅱ」は2024年度の科目提供を最後に、2025年度からは廃止します。

国際教養科目群一覧表

| | 配当年次 | 科目名 | 単位 | 科目区分 | 備考 | | |
|------|---------------|------------------|----|---------|-----------|--|------------------------|
| 基礎科目 | 1~ | 国際教養基礎論1 | 2 | 国際教養科目 | 2024年度で廃止 | | |
| | | 国際教養基礎論2 | | | | | |
| | | 日本近現代史 | 2 | | | | |
| | | 世界近現代史 | 2 | | | | |
| | | 世界の宗教 | 2 | | | | |
| | | 留学関連科目以外の外国語教育科目 | | 外国語教育科目 | | | |
| 展開科目 | 1~ | 比較言語文化論1 | 2 | 国際教養科目 | 2024年度で廃止 | | |
| | | 比較言語文化論2 | | | | | |
| | 1~ | 地域言語文化論1 | 2 | | | | |
| | | 地域言語文化論2 | | | | | |
| | 1~ | メタ言語文化論1 | 2 | | | | |
| | | メタ言語文化論2 | | | | | |
| | 2~ | ジョイント・セミナー比較文化論 | 4 | | | | 外国人留学生と学ぶ科目。外国語で授業を行う。 |
| | 1~ | 多文化コミュニケーション学の基礎 | 2 | | | | |
| | | 多文化コミュニケーション学の応用 | 2 | | | | |
| | 1~ | 異文化間コミュニケーションA | 2 | | | | |
| | 1~ | 異文化間コミュニケーションB | 2 | | | | |
| 1~ | 人から人間への道 | 2 | | | | | |
| 1~ | アイデンティティの社会格差 | 2 | | | | | |

| 配当年次 | 科目名 | 単位 | 科目区分 | 備考 | | |
|--------|----------------------|--------------------------|----------------|--|---|-----------------|
| 留学関連科目 | 日本の伝統と美 | 2 | 国際 教養 科目 | 外国人留学生と学ぶ科目。一部のクラスは外国語で授業を行う。 外国人留学生が履修する場合は、日本語・日本文化教育科目を履修すること。 | | |
| | 日本の伝統と文化 | 2 | | | | |
| | 日本の伝統と芸能 | 2 | | | | |
| | 日本の伝統と能楽 | 2 | | | | |
| | 日本の伝統と芸術 | 2 | | | | |
| | 1~ | 日本とアジア1 | | 2 | 外国人留学生と学ぶ科目。 一部のクラスは外国語で授業を行う。 | |
| | 1~ | 日本とアジア2 | | | | |
| | 1~ | 日本の思想・宗教1 | | 2 | 外国人留学生と学ぶ科目。外国語で授業を行う。 外国人留学生が履修する場合は、日本語・日本文化教育科目を履修すること。 | |
| | 1~ | 日本の思想・宗教2 | | | | |
| | 1~ | 日本の社会事情 | | 2 | 外国人留学生と学ぶ科目。外国語で授業を行う。 | |
| | 1~ | Japan Today1 | | 2 | | |
| | 1~ | Japan Today2 | | | | |
| | 1~ | *① スタンフォード大学科目 | | 2 | | |
| | 1~ | *② AKP科目 | | 2 | | |
| | 1~ | *② KCJS科目 | | 2 | | |
| | 1~ | チュービンゲン大学科目 | | 2 | | |
| | 2~ | *⑤ Intercultural Studies | | 2 | | |
| | 2~ | *⑤ EUキャンパス特別講義 | | 2 | | |
| | 1~ | *③ サマープログラム・英語A | | 4 | | 外国語 教育 科目 |
| | 1~ | *③ サマープログラム・英語B | | 3 | | |
| | 1~ | *③ サマープログラム・英語C | | 2 | | |
| | 1~ | *④ スプリングプログラム・英語A | | 4 | | |
| | 1~ | *④ スプリングプログラム・英語B | | 3 | | |
| | 1~ | *④ スプリングプログラム・英語C | | 2 | | |
| | 1~ | *④ スプリングプログラム・英語D | | 1 | | |
| | 2~ | セメスタープログラム・英語 I | | 4 | | |
| | 2~ | セメスタープログラム・英語 II | | 4 | | |
| | 2~ | *③ サマープログラム・ドイツ語A | | 4 | | |
| | 2~ | *③ サマープログラム・ドイツ語B | | 3 | | |
| | 1~ | *④ スプリングプログラム・ドイツ語 | | 3 | | |
| | 2~ | *⑤ セメスタープログラム・ドイツ語 I | | 4 | | |
| | 2~ | *⑤ セメスタープログラム・ドイツ語 II | | 4 | | |
| | 2~ | *③ サマープログラム・フランス語 | | 4 | | |
| 1~ | *④ スプリングプログラム・フランス語 | 3 | | | | |
| 2~ | *③ サマープログラム・中国語 | 4 | | | | |
| 1~ | *④ スプリングプログラム・中国語 | 1 | | | | |
| 2~ | *③ サマープログラム・スペイン語 | 4 | | | | |
| 2~ | *④ スプリングプログラム・スペイン語 | 1 | | | | |
| 1~ | *④ スプリングプログラム・スペイン語C | 2 | | | | |
| 2~ | *③ サマープログラム・ロシア語 | 4 | | | | |
| 2~ | *③ サマープログラム・ロシア語 | 3 | | | | |
| 1~ | *④ スプリングプログラム・ロシア語 | 3 | | | | |

*① 「スタンフォード大学科目」の授業期間は、AUTUMN QUARTERが9月下旬~12月中旬、SPRING QUARTERが4月上旬~6月中旬である。

配当年次はAUTUMN QUARTERのクラスが1年次生から、SPRING QUARTERのクラスが2年次生からである。

*② 「AKP科目」「KCJS科目」の授業期間は、FALL SEMESTERが9月上旬~12月中旬、SPRING SEMESTERが1月中旬~4月中旬である。

配当年次はFALL SEMESTERのクラスが1年次生から、SPRING SEMESTERのクラスが2年次生からである。SPRING SEMESTERのクラスは、すべて次年度春学期科目の扱いになるため、配当年次は2年次生になるが、授業は前年度1月上旬から開始されるので注意すること。したがって、授業開始年度に卒業予定の学生は履修できない。

*③ サマープログラムは春学期科目だが、春学期末には成績付与されないため、再修生で9月卒業予定者は履修することができない。

*④ スプリングプログラムは秋学期科目だが、秋学期末には成績付与されないため、プログラム参加時に4年次生以上の者は履修できない。

*⑤ 同志社大学チュービンゲンEUキャンパスで「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」という教育プログラムを開講している。「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」は「セメスタープログラム・ドイツ語 I、II」、「Intercultural Studies」、「EUキャンパス特別講義」で構成され、4科目セットで登録する。

以下の科目も国際教養科目群の科目として、履修できるようになりました。(今年度休講の科目もあります)

| 科目区分 | 配当年次 | 科目名 | 単位 | 英語レベル | 備考 |
|--------|------|--|----|----------|--------------|
| 国際教養科目 | 1～ | Freshman “Go Global” Program | 2 | 英語、日本語併用 | 外国人留学生と学ぶ科目。 |
| | 1～ | Mid-college “Be Strong” Program | 4 | | |
| | 1～ | Introduction to Japanese Culture in the Global Context | 2 | L0 | |
| | 1～ | Introduction to Japanese Society in the Global Context | 2 | L0 | |
| | 1～ | Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context | 2 | L0 | |
| | 2～ | Humanities and Global Issues | 2 | L2 | |
| | 2～ | Social Sciences and Global Issues | 2 | L2 | |
| | 2～ | Natural Sciences and Global Issues | 2 | L2 | |
| | 1～ | Japan in Modern World History | 2 | L2 | |
| | 1～ | International Relations in the Postwar Era | 2 | L2 | |
| | 1～ | Issues in Japanese Culture | 2 | L2 | |
| | 1～ | Democracy and Politics : A Comparative Perspective | 2 | L2 | |
| | 1～ | Education in the Age of Globalization | 2 | L2 | |
| | 1～ | Issues in Intercultural Communication | 2 | L1 | |
| | 1～ | Economy and Business in the Global Context 1 | 2 | L2 | |
| | 1～ | Economy and Business in the Global Context 2 | 2 | L2 | |
| | 1～ | Principles of Economics | 2 | L2 | |
| | 1～ | Environmental Economics and Sustainability | 2 | L2 | |
| | 1～ | Critical Social Issues in Contemporary Japan 2 | 2 | L2 | |
| | 1～ | Statistics for the Social Sciences and Humanities | 2 | L2 | |
| | 1～ | Introduction to Computer Science and Information Technology | 2 | L1 | |
| | 1～ | Human Science in the Global Age | 2 | L2 | |
| | 1～ | Introduction to Quantitative Data Analysis | 2 | L2 | |
| | 1～ | Conservation of Japanese Nature and Environment | 2 | L2 | |
| | 1～ | Mathematics and its History | 2 | L1 | |
| | 1～ | Science of Natural Disasters | 2 | L2 | |
| | 1～ | Advanced Seminar 1 | 2 | L3 | |
| | 1～ | Advanced Seminar 2 | 2 | L3 | |
| | 1～ | Advanced Seminar 3 | 2 | L3 | |
| | 1～ | 京都科目 | 2 | 日本語 | |
| | 1～ | クールジャパン科目 | 2 | 日本語 | |
| | 2～ | クリエイティブ・ジャパン科目 | 2 | 日本語 | |

外国人留学生と学ぶ科目について、英語力がTOEFL ITP®テスト500のレベルに達していない者は、L0、L1から履修することをすすめる。

英語レベルの詳細については、シラバスを参照すること。

※TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITPは、エデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

※「国際教養科目群」を履修するには特別な申請は必要ありません。通常の手続きどおり先行登録(科目による)、科目登録等を行ってください。先行登録が必要な科目及び手続き方法については、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

◆京都科目

京都は、日本の中で、伝統、文化をはじめとした文化資本とハイテク産業の集積が最も進んだ都市です。そこにある豊かな素材を活用する「京都科目」は、京都の伝統、文化の真髄と普遍的価値、美意識や感性、精神性を理解するとともに、それらが受容性に優れ、広く異質なものを受け入れてきたことを理解することを目的としています。「京都科目」では、「京都」を題材とした学びを通じ、日本各地の伝統、文化への汎用的理解力を養います。

◆クールジャパン科目

「クールジャパン科目」は、「クールジャパン」として世界が注目するコンテンツ、映画、ファッション、音楽、ゲームソフトなどを内容とする科目です。「他文化圏で受容されている現代日本文化の価値」について考察し、新たな文化の創造、文化による産業創出、海外への発信力の強化なども扱います。

◆クリエイティブ・ジャパン科目

「クリエイティブ・ジャパン科目」では、伝統、文化、芸術を産業振興、新産業の創出、まちづくり、地域コミュニティの再生など、社会のさまざまな分野で活用し、幅広い分野に波及させていくことで、日本社会のクリエイティビティを高めるための方法を思考し、文化による日本のブランディングについて考察します。

外国語教育科目

同志社大学は、教育理念のひとつとして「国際主義」を掲げています。高度な外国語運用能力や、外国の文化や社会に対する柔軟な理解力の養成は、本学の使命でもあります。外国語によるコミュニケーション能力を身に付けること、外国語学習を通して異文化理解力を深めることを目的として、英語、及びドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語の7カ国語について、4年間の段階的、体系的カリキュラムを提供しています。また、兼修外国語としてイタリア語も提供しています。外国語を学び、その言語の背景となる文化への理解を深め、コミュニケーション能力を養うことにより、多様な人々の営み、世界観や価値観に触れてみてください。そしてさらに、国際社会で活躍するための高度な語学力、専門分野に役立つような国際的視野の獲得に努めてください。「ことば」の学習をきっかけとしたさまざまな言語体験を通じて、皆さんが豊かな世界観を形成することを期待します。

※先行登録が必要な科目については、所定の手続きが必要です。登録手続きについては、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

受入留学生とともに学ぶ科目

全学共通教養教育科目では、言語や文化の異なる学生同士が日本のさまざまな文化や芸術についてともに学ぶ科目を数多く開講しています。これらの中には、外国語で授業が行われる科目もあります。該当する科目は4～5ページの表、及び6ページの表で確認してください。

◆スタンフォード大学科目

「スタンフォード日本センター」が同志社大学で実施している、スタンフォード大学の学部生が履修する日本留学プログラムの講義を受講する科目です。

講義は英語で行われ、内容は日本の技術分野に関するものから日本政治、経済、宗教、文化まで幅広く網羅されています。

この講義では、スタンフォード大学の学生と同様の課題が課せられ、講義への積極的な参加が求められます。

◆AKP科目

Associated Kyoto Program (AKP) は、アーモスト大学をはじめとするアメリカを代表する13のリベラルアーツ・カレッジ(アーモスト大学、ベイツ大学、バックネル大学、カールトン大学、コルビー大学、コネチカット大学、マウントホリヨーク大学、オーバリン大学、ポモナ大学、スミス大学、ウェズリアン大学、ウィットマン大学、ウィリアムズ大学)が日本語や日本文化などの日本学教育を目的とし、同志社大学に設置した「AKP同志社留学生センター」が提供する海外留学プログラムです。

「AKP科目」はAKPプログラムの英語による講義をAKP学生とともに受講する科目です。

この講義では、AKP学生と同様の課題が課せられ、講義への積極的な参加が求められます。

◆KCJS科目

Kyoto Consortium for Japanese Studies (KCJS) は1989年に京都市内に設立された機関で、米国の学生に1年間の海外留学プログラムを提供しています。このプログラムにはアメリカの13の名門総合大学(ボストン大学、ブラウン大学、シカゴ大学、コロンビア大学(バーナードカレッジを含む)、コーネル大学、エモリー大学、ハーバード大学、ペンシルベニア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学(セントルイス)、イエール大学、バージニア大学)が参加しており、京都の歴史的・文化的な資産を生かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と知的・文化的な交流がすすめられています。

「KCJS科目」はKCJSプログラムの英語による講義をKCJS学生とともに受講する科目です。

この講義では、KCJS学生と同様の課題が課せられ、講義への積極的な参加が求められます。

◆テュービンゲン大学科目

ドイツのテュービンゲン大学は、日本研究の拠点として同志社大学に「テュービンゲン大学同志社日本研究センター」を設置し、同大学からの留学生に向けて、日本語と日本文化を学ぶための講義を行っています。

「テュービンゲン大学科目」は、テュービンゲン大学同志社日本研究センターの講義を、テュービンゲン大学の学生とともに受講する科目で、講義はドイツ語で行われます。ドイツ語圏への留学準備や留学後のフォローアップに効果的です。ディスカッションに積極的に参加できるドイツ語レベルが望ましいです。

ドイツのEUキャンパスで学ぶ教育プログラム

ドイツのテュービンゲン大学内に設置されたEUキャンパスで春学期に集中的に学ぶ教育プログラム「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」があります。EUキャンパスの特色を生かし、以下の国際教養科目群の4科目をセットで登録します。

◆セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ (外国語教育科目)

1セメスター集中型のドイツ語研修。ドイツ語の運用能力を総合的に高めます。また、フィールドトリップ(3~4箇所)も実施します。

◆Intercultural Studies(国際教養科目)

テュービンゲン大学日本学科の学生との共修科目。日本とドイツ、アジアと欧州の共通点や相違点等の理解を深め、多様な価値観に触れ、受講生自らの世界観を磨くことを目的とします。

◆EUキャンパス特別講義(国際教養科目)

ドイツ及びヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とし、その深層にある社会の特質を理解するとともに、日本が直面する課題の解決について思考することを目的とし、テーマごとにクラスを設定します。

人文科学系科目、社会科学系科目、 自然・人間科学系科目

「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然・人間科学系科目」は、専門科目と相互に関連しながら学生の知識と徳性を助成して、人間形成を達成するために設置されています。

人類の主要な学問的知識の諸領域について、知の体系を総合的に学び、人間、社会及び自然について理解することは、専門分野での創意に富む研究力を修得するために、また人間としての自己形成を達成するためにどの専門分野に進む学生にとっても欠くことのできないことです。

※先行登録が必要な科目については、所定の手続きが必要です。登録手続きについては、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

自然科学系科目の再編に伴う、履修・成績書き換えにおける注意
2024年4月より、自然科学系科目を再編いたしました。これに伴い、2023年度以前に、「数学1・2」、「物質の科学1・2」、「生命の科学1・2」、「地球と宇宙の科学1・2」、「科学史・科学論1・2」を履修した学生は、履修や成績の書き換えにおいて注意が必要です。詳細は、以下のリンク先の案内を確認してください。



<https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/syllabus/syllabus.html#rishuyoko>

保健体育科目

人生にとって心身の健康は、なくてはならないものです。人間が現代社会を豊かに生き抜くためには、健康や体力の維持・増進が求められます。そのためには、スポーツを通じて身体を動かす機会を持ち、そこから健康・体力に関する知識と管理方法を修得することが必要です。

保健体育科目のカリキュラムは、「講義科目」、「実技科目」の2部門から構成されており、「講義」と「実技」の両面から最新のスポーツ・サイエンスを学ぶことができます。

現代人にとって、健康のあり方について、講義を通じて理論的に学習することは、人生にとって大いに価値のあることです。また、実技科目である「スポーツ・パフォーマンス1」では、充実した体育施設の中で正確なスポーツ技術を学ぶことができ、安全にスポーツをする姿勢を身に付けながら、体力を向上させる方策を学修することができます。

※先行登録が必要な科目については、所定の手続きが必要です。登録手続きについては、所属する学部の登録要領で確認してください。

※各科目の卒業要件等、カリキュラム上の取扱いについては、所属する学部の履修要項で確認してください。

先端・複合領域科目

2024年度で廃止

◆先端領域科目

「先端領域科目」は、本学で現在行われている研究の最先端について、専門知識のない学生にわかりやすく教授する科目です。

たとえ、専門外の学生ではあっても、研究の最先端に直接触れることで、学問の奥深さと醍醐味を知ることができるはず。新たな知の領域に触れる感動を自らの専門分野の学修、研究の原動力とすることができるように考えられ、開設されているのが「先端領域科目」です。

◆複合領域科目

現代社会が抱える現実の課題は非常に複雑で、その中には多岐にわたる問題が複合的に重なって存在しています。これらに対処するためには、ひとつの学問分野を切り口としたアプローチでは不十分であり、いくつかの学問分野にまたがる問題に対処する能力を育成することが重要です。

「複合領域科目」では、複数の学問分野に関連する特定のテーマについて、多方面から異なった専門分野の研究者が論じることによって、総合的かつ具体的な問題提供が可能となっており、それらの問題について学際的な視点で学ぶことができる科目です。

同志社データサイエンス・AI教育プログラム (DDASH)

※2015年度生のみ対象

同志社大学では、文理を問わず、デジタル社会の基礎知識である「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能を身に付け、各自の専門分野での学修や社会生活でこれらを道具として活用し、新たな価値を創造できる人物の養成を目的として、2022年度に「同志社データサイエンス・AI教育プログラム (DDASH)」を設置しました。

DDASHは「リテラシーレベル」に加え、さらに深く学ぶ「応用基礎レベル」及び「データサイエンス・AI副専攻」の3つのプログラムで構成します。

※「データサイエンス・AI副専攻」は2022年度以降生が対象です。

DDASHを学ぶ理由

科学技術が高度に発達した現代社会では、さまざまな事象や人々の行動は膨大な量のデータとして蓄積され、商品開発から医療診断、防災、防犯など、私たちの生活を取り巻くあらゆる分野で重視され、活用されています。データやAIをいかに利活用できるかは、今や各国にとって経済成長を遂げるうえでの最重要課題と言っても過言ではありません。

データ分析やデータ加工の過程では、数学的な基礎知識が必要ですが、これらを実際の社会活動に活かすためのアイデアや工夫には、文系の知識や発想が役立つでしょう。また、これらを人間が正しく判断し、活用するために哲学、倫理、法学、論理的思考など、人文・社会科学の教養も求められます。

本プログラムは理系学生だけのものではなく、分野を問わず、多くの学生に学んでもらいたい現代社会の教養です。

特徴

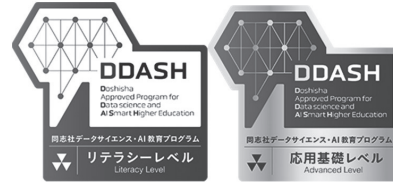
- ・専門分野を問わず、すべての学部学生が履修可能な全学共通教養教育科目で構成するプログラムです。
- ・必修科目の「データサイエンス概論」、「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」は、オンデマンド配信の科目のため、時間・場所を問わず受講できます。（「データサイエンス基礎」と「データエンジニアリング基礎」は試験のみ指定の曜日・講時で対面試験を実施。）
- ・本学学生向けの特別価格で「統計検定」の受験が可能です。このことにより、自身の学修の到達度を客観的に確認できます。
- ・プログラムの必要単位を満たせば、卒業可否に関わらず学習歴のデジタル証明である「オープンバッジ」を希望者に発行します。就職活動等、学内外でのスキルの証明に活用できます。
- ・プログラム履修生を対象に、初学者向け動画プログラミング学習サービス「paizaラーニング」の有料コンテンツを無料で利用できる「paizaラーニング学校フリーパス」を提供します。プログラミングの自学自習やスキルチェックに効果的です。

学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」

- ・オープンバッジの発行希望の確認は各プログラム履修生を対象に同志社ポータルにて案内します。
- ・発行を希望した場合、同志社データサイエンス・AI教育プログラムのすべてのプログラムでの発行を希望したものとみなし、プログラ

ム毎の発行希望の連絡は不要です。

- ・プログラムの必要単位を満たし、かつ、発行を希望した学生を対象に、各学期の成績通知日から3営業日以内に発行作業を行います。オープンバッジの受領手順は同志社ポータルにて案内します。



同志社データサイエンス・AI教育プログラム オープンバッジ

初学者向け動画プログラミング学習サービス「paizaラーニング」

- ・paizaラーニング学校フリーパス利用申請の受付はプログラム履修生を対象に同志社ポータルにて案内します。
- ・利用開始にはpaizaのユーザー登録と、利用申請後に配布されるクーポンコードの適用が必要です。
- ・学校フリーパスは年度末まで利用可能です。翌年度以降も利用を希望する場合は、再度の利用申請が必要となります。申請方法は対象者に同志社ポータルにて案内します。

履修状況の確認

- ・プログラムの履修状況は、以下のいずれかで確認できます。なお、在学中に修了要件を満たしても、プログラムの修了が認められるのは卒業が確定した時点です。ただし、オープンバッジは卒業の可否に関わらず修了要件を満たせば発行が可能になります。
 - DUETの「成績・履修状況」→「その他教育プログラム」
 - 成績通知書の「学業に関する事項」欄

履修中：大学がプログラム申請の一括登録をした状態（当該科目及び選択科目の単位修得状況は問わない）。

修了見込：大学がプログラム申請を一括登録し、かつ、プログラム修了に必要な科目を登録している状態。

単位修得：在学中にプログラム修了に必要な単位をすべて修得した状態。

修了：在学中にプログラム修了に必要な単位をすべて修得し、卒業が確定した状態。

未修了：プログラム修了に必要な単位を修得せずに、卒業が確定した状態。

- ・「単位修得」の状態になれば、本プログラムの学びを終え、必要な知識やスキルを身に付けたことになり、対外的にアピールすることも可能で、オープンバッジの発行が可能になります。

リテラシーレベル

文系理系を問わず、「データを読む、説明する、扱う」といった基本スキルを身に付けるとともに、社会の変化、社会におけるデータ・AIの活用領域と利活用例、利活用におけるさまざまな留意事項を理解します。なお、本プログラムは、デジタル社会で活躍する人材に必要な教育を全国の大学に普及させるために設置した「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」のモデルカリキュラムに準拠した構成となり、令和5年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定プログラムです（認定の有効期限：令和10年3月31日まで）。

リテラシーレベル プログラム構成

| | 科目名 | 科目区分 | 必要単位数 |
|------|---|------------|-------|
| 必修科目 | データサイエンス概論 | 自然・人間科学系科目 | 2単位 |
| 選択科目 | Statistics for the Social Sciences and Humanities | 国際教養科目 | 4単位 |
| | 論理的思考の基礎(1)、論理的思考の基礎(2)、論理的思考の応用(1)、論理的思考の応用(2) | 人文科学系科目 | |
| | 数学1、数学2、データサイエンス1、データサイエンス2、サイバーセキュリティ入門、数学、自然科学特論* *自然科学特論は数学クラスのみが対象 | 自然・人間科学系科目 | |

※必修科目、選択科目についてすべて配当年次は「1～」、単位数は「2単位」

プログラムの修了要件

- ・必修科目「データサイエンス概論」2単位、選択科目の中から2科目4単位以上、計3科目6単位以上を修得した場合、卒業時にプログラム修了が認められます。

プログラムの登録申請

- ・必修科目「データサイエンス概論」を登録し、履修中止せずに受講を続けた者について、本プログラムに申請したものとみなします(当該科目の不合格者も含む)。なお、各学期の履修中止期間から約1週間後に大学が一括登録しますので、各自で本プログラムの登録申請を行う必要はありません。
- ・必修科目「データサイエンス概論」のみの履修も可能です。その場合においても、DUETや成績通知書にはプログラムを履修中である旨が表示されますが、卒業可否には影響しません。

注意事項

※本プログラムの修了証は発行されません。DUETまたは成績通知書の「学業に関する事項」欄で修了の可否を確認してください。なお、希望者には学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」を発行します。

※修得した単位の卒業要件やカリキュラム上の取り扱いについては、所属する学部履修要項で確認してください。

※本プログラムは、完修希望者の科目登録を保証するものではありません。個々の科目のクラス定員や時間割などの都合により、受講できない場合があります。

応用基礎レベル

リテラシーレベルの教育を補完的・発展的に学び、データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力や、AIを活用し課題解決につながる基礎能力を修得し、自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための大局的な視点を獲得することを目標としています。なお、本プログラムもリテラシーレベル同様「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」のモデルカリキュラムに準拠した構成となり、令和6年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」の認定プログラムです。(認定の有効期限：令和11年3月31日まで)。

応用基礎レベル プログラム構成

| | 科目名 | 科目区分 | 必要単位数 |
|------|---|------------|-------|
| 必修科目 | データサイエンス概論、データサイエンス基礎、データエンジニアリング基礎、AI基礎 | 自然・人間科学系科目 | 8単位 |
| 選択科目 | Statistics for the Social Sciences and Humanities | 国際教養科目 | 4単位 |
| | 論理的思考の基礎(1)、論理的思考の基礎(2)、論理的思考の応用(1)、論理的思考の応用(2) | 人文科学系科目 | |
| | 数学1、数学2、データサイエンス1、データサイエンス2、サイバーセキュリティ入門、数学、自然科学特論* *自然科学特論は数学クラスのみが対象 | 自然・人間科学系科目 | |

※必修科目、選択科目についてすべて配当年次は「1～」、単位数は「2単位」。

※必修科目の「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」の履修には「データサイエンス概論」の単位修得が必要。

プログラムの修了要件

- ・必修科目8単位、選択科目の中から2科目4単位以上、計6科目12単位以上を修得した場合、卒業時にプログラム修了が認められます。

プログラムの登録申請

- ・必修科目「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」のいずれかを登録し、履修中止せずに受講を続けた者について、本プログラムに申請したものとみなします(当該科目の不合格者も含む)。なお、各学期の履修中止期間から約1週間後に大学が一括登録しますので、各自で本プログラムの登録申請を行う必要はありません。
- ・必修科目「データサイエンス基礎」、「データエンジニアリング基礎」、「AI基礎」のみの履修も可能です。その場合においても、DUETや成績通知書にはプログラムを履修中である旨が表示されますが、卒業可否には影響しません。

注意事項

※本プログラムの修了証は発行されません。DUETまたは成績通知書の「学業に関する事項欄」で修了の可否を確認してください。なお、希望者には学習歴のデジタル証明「オープンバッジ」を発行します。

※修得した単位の卒業要件やカリキュラム上の取り扱いについては、所属する学部履修要項で確認してください。

※本プログラムは、完修希望者の科目登録を保証するものではありません。個々の科目のクラス定員や時間割などの都合により、受講できない場合があります。

同志社データサイエンス・AI教育プログラム(DDASH)については、以下のURLからご覧ください。

<https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/ddash/overview.html>



全学共通教養教育科目の履修について

「全学共通教養教育科目」はそれぞれが自分の興味関心に応じた履修計画を立て、その上で登録履修するものです。この点がそれぞれの学部の専門科目と異なる点です。「それならなんでも自由に選んでいいのだ」と考える人がいるかもしれませんが、しかし、それでは皆さんの教養がばらばらで、統一性のないものになってしまいますか。

まずは、履修モデル(※)などを参考にして自分独自の履修計画を立ててみてください。それには次の5つの観点が大事です。

- 1) 建学の精神、キリスト教、宗教全般について考えてみよう!
- 2) 自分の専攻分野とは異なる分野を学んで、物事を多面的に見られるようにしよう!
- 3) 論理的思考力、コミュニケーション力をしっかり鍛えよう!
- 4) 4年間を通じて学ぶつもりで、バランスよく配置してみよう!
- 5) 総まとめに、自分の専攻分野について、その社会的な意味を考えてみよう!

※履修モデルは、全学共通教養教育センターのホームページに掲載しています。

<https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/syllabus/syllabus.html>



全学共通教養教育科目 登録・受講にあたっての注意

1. 対象(学部・入学年度)について

この『履修要項』は、全学部の2015~2013年度生を対象としています。

2. 科目区分について

入学年度によって履修できる科目区分が異なります。履修できる科目区分を確認の上、開講科目一覧表を参照してください。(2015~2013年度生対象の科目区分は、15ページ参照)

3. 修得した単位について

修得した単位の取扱い(卒業必要単位への算入方法等)は、各学部によって異なります。また、登録にあたって、個別の条件が付加される場合がありますので、所属学部・学年の『履修要項』を参照し、十分に理解した上で登録してください。

4. 科目コードについて

科目登録の際、入学年度によって科目コードが異なる場合がありますので、注意してください。

5. 各クラスの授業形態について

それぞれのクラスがどのような授業形態(面接授業、遠隔授業など)で行われるのかは、シラバスで確認してください。

6. 「先行登録科目」の登録について

「先行登録科目」の登録手続きについては、各学部『登録要領』で確認してください。

7. 「外国語教育科目」の登録について

「外国語教育科目」は、学部・学科によってクラスが指定されている科目や先行登録が行われる科目があります。詳細は各学部『登録要領』で確認してください。また、クラスコード(***)、担当者、校地、期間時間、履修条件などについては、各学部『登録要領』を参照してください。

8. 「保健体育科目」の登録について

「保健体育科目」は、先行登録が行われる科目があります。詳細は各学部『登録要領』で確認してください。また、クラスコード(***)、担当者、校地、期間時間、履修条件などについては、各学部『登録要領』を参照してください。

9. 「大学のまち交流センター(キャンパスプラザ京都)」で実施される科目について

「大学のまち交流センター(キャンパスプラザ京都)」で実施される科目は、本学と講義時間帯が異なるため、前後に今出川校地開講科目を登録する場合は20分間の移動時間、京田辺校地開講科目を登録する場合は50分間の移動時間を確保しなければ登録できません。また、本学休講日に授業が行われることもあります。

10. クラス分割及び登録クラスの変更について

登録の結果、受講生が多数となり適切な授業運営が不可能であると判断された場合は、クラスを分割し、時間割上履修可能な他の曜日講時に登録を移す措置をとることがあります。

11. 掲示板について

「全学共通教養教育科目」の掲示板は以下のとおりです。

京田辺校地：知真館1号館1階通路

今出川校地：良心館東側<今出川キャンパス>

：尋真館1階南側<新町キャンパス>

12. 受講に対する配慮について

「見る」「聴く」「話す」「四肢を使って作業する」など、心身の機能障がいのため「社会的障壁」となる内容を含む科目(演習、実験、実習、語学など)については、「合理的配慮」として代替措置をとることが可能なものがあります。

登録前に、学部・研究科事務室までご相談ください。

授業1週目(DO Week)と授業2週目以降に行われるオンデマンド配信の受講方法について

通常の教室での授業を13週の授業期間に受講し、残り2週分の授業はオンデマンドで受講することを基本とします。授業1週目(DO Week)のオンデマンド配信はシラバスからURLを確認して受講の上、指示された課題等に取り組んでください。具体的な受講手順については大学HPに掲載しています。以下URLもしくはQRコードから詳細を確認してください。

また、授業2週目以降に行われるオンデマンド配信の受講方法については科目担当者からの指示に従ってください。

■DO Weekから始まる新たな学び

https://www.doshisha.ac.jp/students/new_calender/index.html



遠隔授業(ネット配信授業)の卒業必要単位数の上限に注意!

同志社大学学則第9条の5では、文部科学省令である大学設置基準に規定されている遠隔授業の卒業必要単位数への算入上限を規定しており、学修支援システムDUETやシラバスに掲載している「学則第9条の5対象」は履修中の科目、もしくは単位修得済の科目がその「対象」であるか「対象外」であるかを示すものです。

本学では、2023年度までは新型コロナウイルス感染症における特例措置等により、すべての科目を「学則第9条の5」の「対象外」としています。これにより、すべての修得単位が卒業必要単位数へ算入されるため、この表示に留意する必要はありませんでしたが、2024年度以降は特例措置の適用がなくなるため、この項目に留意して履修計画を立てる必要があります。

所属する学部によって卒業必要単位数への算入上限単位数が決まっており、各科目が「対象」か「対象外」かについてはシラバスで確認してください。詳細については以下URLもしくはQRコードから確認してください。

■「学則第9条の5対象」に関するホームページ

<https://duet-man.doshisha.ac.jp/student/article9-5.pdf>



全学共通教養教育科目 開講科目

- ・同志社科目
- ・キャリア形成支援科目
- ・国際教養科目
- ・人文科学系科目
- ・社会科学系科目
- ・自然・人間科学系科目
- ・先端・複合領域科目
- ・プロジェクト科目
- ・外国語教育科目
- ・保健体育科目

開講科目一覧表の見方について

配当年次

履修できる学年を示します。

<例>

2～：2年次以上で履修できる科目です。

登録コード

科目を特定する「科目コード」とクラスを特定する「クラスコード」で構成されています。クラスコードが記載されている科目は、科目登録の際、両方のコードを正しく入力してください。

教育プログラム構成科目

各教育プログラムを構成する科目を表します。

(DDASH)：同志社データサイエンス・AI教育プログラム

校 地

授業が開講される校地を表します。

- 田 ：京田辺校地
- 今 ：今出川校地
- 交流セ ：交流センター
- リトリート：同志社びわこリトリートセンター
- インタ ：インターネット授業
- 海外 ：海外キャンパス

期間・時間

授業が開講される期間・時間を表します。

<例>

- 春2 ：春学期に開講、週2時間（1講時分）
- 秋2 ：秋学期に開講、週2時間（1講時分）
- 春・秋2 ：春学期・秋学期を通して開講、週2時間（1講時分）
- 春・集中 ：春学期に集中科目として開講
- 秋・集中 ：秋学期に集中科目として開講
- 通年集中 ：春学期・秋学期にわたって、集中科目として開講

備 考

「先行登録」、「学部クラス指定」、「履修対象年度」などの注意事項が記載されています。

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード 科目コード クラスコード | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム 構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間 時間 | 備考 | |
|-------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|-----------------|-------|-------|----------|---|----|
| 同志社科目 キャリア形成 支援科目 | 同志社科目 | 16001000 | 501 建学の精神とキリスト教-501 新島襄・同志社・キリスト教の基礎 | 2 | | 三輪 地塩 | インタ | 春2 | ※経済学部生は「同志社科目」を登録することが望ましい。 ※商学部生は「同志社科目」を1科目以上登録することが望ましい。 ※理工学部生は「同志社科目群」より2単位以上修得しなければならない。(詳細は理工学部『履修要項』を参照) ※心理学部生は「同志社科目」および「宗教学(1)」「宗教学(2)」より4単位以上修得しなければならない。(詳細は心理学部『履修要項』を参照) 建学の精神とキリスト教 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 神学部生は登録できない。 | |
| | | | 502 建学の精神とキリスト教-502 新島襄・同志社・キリスト教の基礎 | | | 木谷 佳楠 | | | | |
| | | | 503 建学の精神とキリスト教-503 新島襄・同志社・キリスト教の基礎 | | | 黒柳 志仁 | | | | |
| | | | 504 建学の精神とキリスト教-504 新島襄・同志社・キリスト教の基礎 | | | 杉田 俊介 | | | | |
| | | | 505 建学の精神とキリスト教-505 新島襄・同志社・キリスト教の基礎 | | | 黒柳 志仁 | | | | |
| | | | 506 建学の精神とキリスト教-506 新島襄・同志社・キリスト教の基礎 | | | 三輪 地塩 | | | | |
| | | | 507 建学の精神とキリスト教-507 新島襄・同志社・キリスト教の基礎 | | | 木谷 佳楠 | | | | |
| | | | 508 建学の精神とキリスト教-508 新島襄・同志社・キリスト教の基礎 | | | 杉田 俊介 | | | | |
| | 同志社科目 | 16000011 | 001 キリスト教と人間 1-1 旧約聖書の視点から | 2 | | 李 元重 | 田 | 春2 | | |
| | | | 051 キリスト教と人間 1-51 旧約聖書の視点から | | | 菅根 信彦 | 今 | 秋2 | | |
| | | | 061 キリスト教と人間 1-61 旧約聖書の視点から | | | 黒柳 志仁 | インタ | 春2 | | |
| | | | 501 キリスト教と人間 1-501 旧約聖書の視点から | | | 李 元重 | 今 | 秋2 | | |
| | | 16000012 | 011 キリスト教と人間 2-11 新約聖書の視点から | 2 | | 森田 喜基 | インタ | 秋2 | | |
| | | | 051 キリスト教と人間 2-51 新約聖書の視点から | | | 李 元重 | 田 | 春2 | | |
| | | | 061 キリスト教と人間 2-61 新約聖書の視点から | | | 黒柳 志仁 | 今 | 秋2 | | |
| | | | 501 キリスト教と人間 2-501 新約聖書の視点から | | | 菅根 信彦 | インタ | 春2 | | |
| | | 同志社科目 | 16000017 | 001 キリスト教の歴史と同志社-1 宗教改革から現代まで | 2 | | 森田 喜基 | インタ | | 秋2 |
| | | | | 061 キリスト教の歴史と同志社-61 宗教改革から現代まで | | | 李 元重 | 田 | | 春2 |
| | | | | 501 キリスト教の歴史と同志社-501 宗教改革から現代まで | | | 越川 弘英 | 今 | | 秋2 |
| | | | | 511 キリスト教の歴史と同志社-511 宗教改革から現代まで | | | 李 元重 | インタ | | 春2 |
| | 16002000 | | 001 同志社の歴史-1 資料の再検討から考える同志社の通史 | 2 | | 休 講 | | | | |
| | | | 051 同志社の歴史-51 資料の再検討から考える同志社の通史 | | | 小枝 弘和 | 田 | 秋2 | | |
| | | | 001 キリスト教とは何か 1 | | | 休 講 | | | | |
| | | | 001 キリスト教とは何か 2 | | | 休 講 | | | | |
| | 同志社科目 | 16000017 | 001 キリスト教の歴史と同志社-1 宗教改革から現代まで | 2 | | 休 講 | | | | |
| | | | 061 キリスト教の歴史と同志社-61 宗教改革から現代まで | | | 小枝 弘和 | 田 | 秋2 | | |
| | | | 501 キリスト教の歴史と同志社-501 宗教改革から現代まで | | | 休 講 | | | | |
| | | | 511 キリスト教の歴史と同志社-511 宗教改革から現代まで | | | 小枝 弘和 | 今 | 春2 | | |
| 16002000 | | 001 同志社の歴史-1 資料の再検討から考える同志社の通史 | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | | 051 同志社の歴史-51 資料の再検討から考える同志社の通史 | | | 休 講 | | | | | |
| | | 001 キリスト教と人間 2-511 新約聖書の視点から | | | 休 講 | | | | | |
| | | 051 キリスト教と人間 2-511 新約聖書の視点から | | | 休 講 | | | | | |
| キャリア形成 支援科目 | | 16000100 | 001 キャリア開発と学生生活-1 働くことは生きること | 2 | | 阪田真己子 | 田 | 春2 | | |
| | | | 051 キャリア開発と学生生活-51 働くことは生きること | | | 休 講 | | | | |
| | | | キャリア開発の課題と方法 | | | 休 講 | | | | |
| | | 16000104 | 001 労働市場の動向とキャリア形成-1 社会の変化に対応するために | 2 | | 野村 友和 | 田 | 秋2 | | |
| | 051 労働市場の動向とキャリア形成-51 社会の変化に対応するために | | 休 講 | | | | | | | |
| | 1・2のみ | | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | キャリア形成 支援科目 | 16000105 | メガトレンドを読む 今後30年の日本そして世界の姿 | 2 | | 田中 博文 | インタ | 秋2 | メガトレンドを読む 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | |
| | | | | | | 松田 拓也 | | | | |
| | | | | | | 福田 芳久 | | | | |
| | | | | | | 堀田 昇吾 | | | | |
| | | | | | | 宮内 禎一 | | | | |
| | | | | | | 松尾 博文 | | | | |
| 小竹 洋之 | | | | | | | | | | |
| 山田 剛 | | | | | | | | | | |
| 福山 敬太 | | | | | | | | | | |
| 伊集院 敦 | | | | | | | | | | |
| 大岩佐和子 | | | | | | | | | | |
| 吉田ありさ | | | | | | | | | | |
| 荻野 雅史 | | | | | | | | | | |
| 八木谷勝美 | | | | | | | | | | |
| 尾島 島雄 | | | | | | | | | | |
| 鈴木 哲也 | | | | | | | | | | |
| 青木 慎一 | | | | | | | | | | |

※科目区分「キャリア形成支援科目」は、DUET 上では「ライフデザイン科目」と表示されます。

| 科目区分 | 配当年度 | 登録コード | | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間時間 | 備考 | | | | |
|------------|---|------------------------|--|--|----|--------------------|--|-----|------|---|--|---|----|--|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | | | | | |
| キャリア形成支援科目 | 1~ | 16000106 | 001 | SDGsで考える社会課題とキャリア形成-1 世界をよりよく変革するために | 2 | | 上田 敬 福田 芳久 宮内 禎一 赤川 省吾 木村 恭子 久保田啓介 毛利 靖子 永田 好生 谷口 誠 天野由輝子 高橋 徹 | 田 | 春2 | SDGsで考える社会課題とキャリア形成 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 2013年度以前生は登録できない。 | | | | |
| | | | 051 | SDGsで考える社会課題とキャリア形成-51 世界をよりよく変革するために | | | 今 | | | | | | | |
| | 2~ | 16009100 | 働くということ 現代の労働組合 | | 2 | | 寺井 基博 上田 眞士 朴 峻喜 | 今 | 春2 | | 働くということ 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | | | |
| | | | キャリア形成とインターンシップ-1 Internship on Campus | | | | 2 | | | | | | | キャリア形成とインターンシップ-201 科目登録前に必ず科目説明動画を視聴すること。 詳細については『登録要領』を参照。 商、政策学部生は登録科目が異なるため、『登録要領』を参照。 |
| 2・3のみ | キャリア形成とインターンシップ-51 Internship on Campus | | 2 | | | | | | | | | | | |
| 国際教養科目 | 1~ | 16000103 | 201 | キャリア形成とインターンシップ-201 | 2 | | 多田 実 関 智宏 中道 一心 | 交流七 | 通年集中 | | | | | |
| | 2~ | 16000200 | ジョイント・セミナー比較文化論 | | 4 | | LINUS YAMANE | 今 | 秋4 | ジョイント・セミナー比較文化論 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 授業は英語で行われる。 | | | | |
| | | | 多文化コミュニケーション学の基礎 | | | | 2 | 休講 | | | | | | |
| | | | 多文化コミュニケーション学の応用 | | | | 2 | 休講 | | | | | | |
| | | | 異文化間コミュニケーションA | | | | 2 | 休講 | | | | | | |
| | | | 異文化間コミュニケーションB | | | | 2 | 休講 | | | | | | |
| | | | 人から人間への道 | | | | 2 | 休講 | | | | | | |
| | | | 16000211 | 051 | | | アイデンティティの社会格差-51 | | 2 | | 安武 留美 | 今 | 春2 | |
| | | | | 052 | | | アイデンティティの社会格差-52 | | | | GARTH WARRIES | 今 | 秋2 | |
| | | | 16000203 | 051 | | | 日本の伝統と美-51 いけばなを知る | | 2 | | 芦田 一寿 | 今 | 春2 | 日本の伝統と美 日本の伝統と文化 日本の伝統と芸能 日本の伝統と芸術 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 別途費用が必要な科目もあるので注意すること。 上記5科目の外国人留学生および国際教養コース(ILA)の学生の登録については、所属学部の『履修要項』『日本語・日本文化教育科目履修の手引き』を参照。 |
| | | | | 052 | | | 日本の伝統と美-52 いけばなを感じる | | | | 芦田 一寿 | 今 | 秋2 | |
| | 16000204 | 001 | 日本の伝統と文化-1 日本人の見た花の美しさ | | 2 | | 芦田 一寿 | 田 | 春2 | | | | | |
| | | 002 | 日本の伝統と文化-2 日本人の見た花の美しさ | | | | 芦田 一寿 | | 秋2 | | | | | |
| | | 003 | 日本の伝統と文化-3 着物 | | | | 榎木 良子 | | 春2 | | | | | |
| | | 004 | 日本の伝統と文化-4 着物 | | | | 榎木 良子 | | 秋2 | | | | | |
| | | 051 | 日本の伝統と文化-51 日本人の見た花の美しさ | | | | 芦田 一寿 | | 今 | 春2 | | | | |
| | | 052 | 日本の伝統と文化-52 日本人の見た花の美しさ | | | | 芦田 一寿 | | 今 | 秋2 | | | | |
| | | 053 | 日本の伝統と文化-53 着物 | | | | 榎木 良子 | | 春2 | | | | | |
| | | 054 | 日本の伝統と文化-54 着物 | | | | 榎木 良子 | | 秋2 | | | | | |
| | 16000205 | 051 | 日本の伝統と芸能-51 雅楽 | | 2 | | 中川 久公 | 今 | 春2 | | | | | |
| | | 052 | 日本の伝統と芸能-52 雅楽 | | | | 中川 久公 | | 秋2 | | | | | |
| | | 053 | 日本の伝統と芸能-53 仮名手本忠臣蔵を読む | | | | 高 永珍 | | 春2 | | | | | |
| | 16000206 | 051 | 日本の伝統と芸能-51 能楽を通してみる日本の伝統文化 | | 2 | | 河村 晴久 | 今 | 春2 | | | | | |
| | | 052 | 日本の伝統と芸能-52 能楽を通してみる日本の伝統文化 | | | | 河村 晴久 | | 秋2 | | | | | |
| | 16000207 | 001 | 日本の伝統と芸術-1 日本庭園の世界 | | 2 | | IGNACIO ARISTIMUNO | 田 | 春2 | | | | | |
| | | 002 | 日本の伝統と芸術-2 日本建築の世界 | | | | IGNACIO ARISTIMUNO | | 秋2 | | | | | |
| | | 053 | 日本の伝統と芸術-53 日本庭園の世界 | | | | IGNACIO ARISTIMUNO | | 今 | 春2 | | | | |
| | | 054 | 日本の伝統と芸術-54 日本建築の世界 | | | | IGNACIO ARISTIMUNO | | 今 | 秋2 | | | | |
| | | | 日本とアジア I | | 2 | | 休講 | | | | | | | |
| | 16000215 | 052 | 日本とアジア 2-52 日韓文化交流 | | 2 | | 高 永珍 | 今 | 秋2 | 日本とアジア2-52 授業はコリア語で行われる。 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | | | | |
| | 16000212 | 001 | 日本の思想・宗教 I-1 禅の世界 | | 2 | | IGNACIO ARISTIMUNO | 田 | 春2 | | | | | |
| | | 052 | 日本の思想・宗教 I-52 禅の世界 | | | | IGNACIO ARISTIMUNO | | 今 | | | | | |
| 16000213 | 001 | 日本の思想・宗教 2-1 日本と仏教の世界 | | 2 | | IGNACIO ARISTIMUNO | 田 | 秋2 | | | | | | |
| | 052 | 日本の思想・宗教 2-52 日本と仏教の世界 | | | | IGNACIO ARISTIMUNO | | 今 | | | | | | |
| 16000218 | 051 | 日本の社会事情-51 | | 2 | | WILLIAM BRADLEY | 今 | 春2 | | | | | | |
| | 052 | 日本の社会事情-52 | | | | WILLIAM BRADLEY | | 秋2 | | | | | | |
| 16000216 | 051 | Japan Today I-51 | | 2 | | OMAR YUSEF BAKER | 今 | 春2 | | | | | | |
| | 052 | Japan Today I-52 | | | | OMAR YUSEF BAKER | | 秋2 | | | | | | |
| 16000217 | 051 | Japan Today 2-51 | | 2 | | OMAR YUSEF BAKER | 今 | 春2 | | | | | | |
| | 052 | Japan Today 2-52 | | | | OMAR YUSEF BAKER | | 秋2 | | | | | | |

※科目区分「キャリア形成支援科目」は、DUET上では「ライフデザイン科目」と表示されます。

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード 科目コード クラスコード | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム 構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間 時間 | 備考 | | | | | |
|----------|------|---|----------------|---|---|-----|-----|--|--|-----|------------------|----|------------------------------|--|
| 同志社科目 | 1~ | | スタンフォード大学科目 | 2 | | | 今 | 春2 | スタンフォード大学科目 AKP科目 KCJS科目 選考試験を実施する。詳細は『登録要領』および別頁「国際教養科目群」を参照。授業は英語で行われる。 | | | | | |
| | | | スタンフォード大学科目 | | | | | 秋2 | | | | | | |
| | | | AKP科目 | 2 | | | | 今 | | 春2 | | | | |
| | | | AKP科目 | | | | | | | 秋2 | | | | |
| | | | KCJS科目 | 2 | | | | 今 | | 春2 | | | | |
| | | | KCJS科目 | | | | | | | 秋2 | | | | |
| | | 16606500 | 051 | チュービンゲン大学科目-51 日本における民族的マイノリティとマージナルグループ | | | | 2 | | 今 | MICHAEL WACHUTKA | 春2 | チュービンゲン大学科目 授業はドイツ語で行われる。 | |
| | | | 052 | チュービンゲン大学科目-52 過去と現在の日常民間信仰 | | | | | | | MICHAEL WACHUTKA | 秋2 | | |
| | | 16002200 | 001 | 日本近現代史-1 多様な観点から | | | | 2 | | 今 | 吉村 智博 | 田 | 春2 | 日本近現代史-52 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 |
| | | | 002 | 日本近現代史-2 阪神地方の都市史を素材として | | | | | | | 辻川 敦 | | 秋2 | |
| | | | 051 | 日本近現代史-51 多様な観点から | | | | | | | 吉村 智博 | 春2 | | |
| | | | 052 | 日本近現代史-52 阪神地方の都市史を素材として | | | | | | | 辻川 敦 | 秋2 | | |
| 16002201 | 001 | 世界近現代史-1 東アジア近現代史の相関及び他地域との比較 | 2 | 今 | 成田 千尋 | 田 | 春2 | 世界近現代史-51 社会・経済・政策学部生は登録できない。 世界近現代史-52 法・商・グローバル地域文化学部生は登録できない。 | | | | | | |
| | 002 | 世界近現代史-2 東アジア近現代史の相関及び他地域との比較 | | | 成田 千尋 | | 秋2 | | | | | | | |
| | 051 | 世界近現代史-51 近現代東アジアにおける戦争と植民地支配 | | | 西村 直登 | 春2 | | | | | | | | |
| | 052 | 世界近現代史-52 近現代東アジアにおける戦争と植民地支配 | | | 西村 直登 | 秋2 | | | | | | | | |
| 16001200 | 001 | 世界の宗教-1 諸宗教の世界観とエートス | 2 | 今 | 三宅 威仁 村山 盛葦 平岡光太郎 朝香 知己 村上 みか 青木 保憲 森山 央朗 西 直美 大島 智靖 崔 弘徳 住家 正芳 | 田 | 春2 | 世界の宗教-1 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。「世界の宗教-51」をテレビ配信する講義である。 | | | | | | |
| | 051 | 世界の宗教-51 諸宗教の世界観とエートス | | | 三宅 威仁 村山 盛葦 平岡光太郎 朝香 知己 村上 みか 青木 保憲 森山 央朗 西 直美 大島 智靖 崔 弘徳 住家 正芳 | | | | | | | | | |
| 16000251 | | Intercultural Studies ドイツとEU,日本間の異文化理解 | 2 | 今 | 和田 喜彦 | 今 | 春集中 | Intercultural Studies EUキャンパス特別講義 授業は同志社大学チュービンゲンEUキャンパスで実施する。詳細は『登録要領』の「セメスタープログラム・ドイツ語・II」のページを参照。 | | | | | | |
| | 001 | EUキャンパス特別講義-1 ドイツの歴史・社会と歴史認識 | | | | | | | 穠山 洋子 | 春集中 | | | | |
| 16000252 | 002 | EUキャンパス特別講義-2 ドイツおよびEUの現代的課題を見据えて | 2 | 今 | 和田 喜彦 穠山 洋子 | 今 | 春集中 | | | | | | | |
| 16000700 | 051 | Freshman “Go Global” Program-51 ベトナム文化・歴史・経済を「体感」するスタディツアー：SDGsについて考える | 2 | 今 | 有井 健 木田 佳男 | 今 | 秋集中 | 科目コード 16000700 ~ 16000732および16000216 ~ 16000217は国際教養コース(ILA)の学生は登録できない。 Freshman Go Global Program 選考試験を実施する。詳細については『登録要領』を参照。 | | | | | | |
| | 052 | Freshman “Go Global” Program-52 ヨーロッパの伝統と今を体感するドイツフィールドワーク | | | | | | | 中村 拓也 | | | | | |
| 16000701 | | Mid-college “Be Strong” Program | 4 | 今 | 土井ベンソン アンヤ 村田 晃嗣 八木 匡 根岸 祥子 二村 太郎 | 今 | 春集中 | Mid-college Be Strong Program 選考試験を実施する。詳細については『登録要領』を参照。 | | | | | | |
| 16000702 | 001 | Introduction to Japanese Culture in the Global Context-1 | 2 | 今 | 土井ベンソン アンヤ | 田 | 春2 | 授業は英語で行われる。先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | | | | | | |
| | 002 | Introduction to Japanese Culture in the Global Context-2 | | | | | 秋2 | | | | | | | |
| | 051 | Introduction to Japanese Culture in the Global Context-51 | | | | | 春2 | | | | | | | |
| | 052 | Introduction to Japanese Culture in the Global Context-52 | | | | | 秋2 | | | | | | | |
| 16000703 | 001 | Introduction to Japanese Society in the Global Context-1 | 2 | 今 | ROBERT WILLIAM ASPINALL | 田 | 春2 | | | | | | | |
| | 051 | Introduction to Japanese Society in the Global Context-51 | | | | | 春2 | | | | | | | |
| | 052 | Introduction to Japanese Society in the Global Context-52 | | | | | 秋2 | | | | | | | |

- 同志社科目
- キャリア形成
支援科目
- 国際教養科目
- 人文科学系科目
- 社会科学系科目
- 自然科学系科目
自然・人間
- 先端・複合
領域科目
- プロジェクト
科目
- 外国語教育科目
- 保健体育科目

国際教養科目

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード | | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間時間 | 備考 | | | | |
|----------|----------|----------|--------|---|---|---------------------------------------|---------------------------------|-------------------------|------|------------------------------------|--|---|---|----|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | | | | | |
| 国際教養科目 | 1~ | 16000704 | 001 | 001 | Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-1 | 2 | | 有井 健 | 田 | 春2 | 授業は英語で行われる。先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | | | |
| | | | 002 | 002 | Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-2 | | | | 今 | 秋2 | | | | |
| | | | 051 | 051 | Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-51 | | | | 今 | 春2 | | | | |
| | | | 052 | 052 | Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context-52 | | | | 今 | 秋2 | | | | |
| | 2~ | 16000705 | 001 | 001 | Humanities and Global Issues-1 | 2 | | 土井ベンソン アンヤ | 田 | 秋2 | | | | |
| | | | 051 | 051 | Humanities and Global Issues-51 | | | | 今 | 春2 | | | | |
| | | | 052 | 052 | Humanities and Global Issues-52 | | | | 今 | 秋2 | | | | |
| | | 16000706 | 001 | 001 | Social Sciences and Global Issues | 2 | | ROBERT WILLIAM ASPINALL | 今 | 秋2 | | | | |
| | | | 001 | 001 | Natural Sciences and Global Issues-1 | | | | 田 | 春2 | | | | |
| | | 16000707 | 051 | 051 | 051 | Natural Sciences and Global Issues-51 | 2 | | 有井 健 | 今 | | 春2 | | |
| | 051 | | | | | | | | | 051 | | Natural Sciences and Global Issues-51 | 今 | 春2 |
| | 16000708 | 051 | 051 | 051 | Japan in Modern World History-51 | 2 | | IGNACIO ARISTIMUNO | 今 | 春2 | | | | |
| | | | | | | | | | 052 | 052 | | Japan in Modern World History-52 | 今 | 秋2 |
| | 16000709 | 051 | 051 | 051 | International Relations in the Postwar Era-51 | 2 | | GARTH WARRIES | 今 | 春2 | | | | |
| | | | | | | | | | 052 | 052 | | International Relations in the Postwar Era-52 | 今 | 秋2 |
| | 16000710 | 001 | 001 | 001 | Issues in Japanese Culture-1 | 2 | | 土井ベンソン アンヤ | 田 | 春2 | | | | |
| | | | | | | | | | 051 | 051 | | Issues in Japanese Culture-51 | 今 | 春2 |
| | | | | | | | | | 052 | 052 | | Issues in Japanese Culture-52 | 今 | 秋2 |
| | 16000715 | 001 | 001 | 001 | Democracy and Politics : A Comparative Perspective-1 | 2 | | ROBERT WILLIAM ASPINALL | 田 | 秋2 | | | | |
| | | | | | | | | | 051 | 051 | | Democracy and Politics : A Comparative Perspective-51 | 今 | 春2 |
| | 16000716 | 001 | 001 | 001 | Education in the Age of Globalization-1 | 2 | | ROBERT WILLIAM ASPINALL | 田 | 春2 | | | | |
| | | | | | | | | | 051 | 051 | | Education in the Age of Globalization-51 | 今 | 春2 |
| | 16000717 | 001 | 001 | 001 | Issues in Intercultural Communication-1 | 2 | | ROBERT WILLIAM ASPINALL | 田 | 秋2 | | | | |
| | | | | | | | | | 051 | 051 | | Issues in Intercultural Communication-51 | 今 | 春2 |
| | 16000718 | | | | Economy and Business in the Global Context 1 | 2 | | 森 宏一郎 | 今 | 春2 | | | | |
| | 16000719 | 051 | 051 | 051 | Economy and Business in the Global Context 2 -51 | 2 | | 森 宏一郎 | 今 | 春2 | | | | |
| | | | | | | | | | 052 | 052 | | Economy and Business in the Global Context 2 -52 | 今 | 秋2 |
| | 16000731 | | | | Principles of Economics | 2 | | 森 宏一郎 | 今 | 春2 | | | | |
| | 16000732 | | | | Environmental Economics and Sustainability | 2 | | 森 宏一郎 | 今 | 春2 | | | | |
| | 16000721 | 051 | 051 | 051 | Critical Social Issues in Contemporary Japan 2 -51 | 2 | | WILLIAM BRADLEY | 今 | 春2 | | | | |
| | | | | | | | | | 052 | 052 | | Critical Social Issues in Contemporary Japan 2 -52 | 今 | 秋2 |
| | 16000724 | 001 | 001 | 001 | Statistics for the Social Sciences and Humanities-1 | 2 | DDASH | 李 玉哲 | 田 | 春2 | | | | |
| | | | | | | | | | 051 | 051 | | Statistics for the Social Sciences and Humanities-51 | 今 | 秋2 |
| | 16000725 | | | | Introduction to Computer Science and Information Technology | 2 | | MYGDALSKYY VOLODYMYR | 今 | 春2 | | | | |
| | 16000726 | 001 | 001 | 001 | Human Science in the Global Age-1 | 2 | | DANYL MIGDALSKYY | 田 | 春2 | | | | |
| 051 | | | | | | | | | 051 | Human Science in the Global Age-51 | 今 | 春2 | | |
| 16000727 | | | | Introduction to Quantitative Data Analysis | 2 | DDASH | DANYL MIGDALSKYY | 今 | 秋2 | | | | | |
| 16000728 | | | | Conservation of Japanese Nature and Environment | 2 | | 有井 健 | 今 | 秋2 | | | | | |
| 16000729 | | | | Mathematics and its History | 2 | DDASH | VILLE JOONAS JOHANNES SYRJÄENEN | 今 | 春2 | | | | | |
| 16000730 | | | | Science of Natural Disasters | 2 | | 有井 健 | 今 | 春2 | | | | | |
| 16091201 | 051 | 051 | 051 | Advanced Seminar 1 -51 | 2 | | 土井ベンソン アンヤ | 今 | 春2 | | | | | |
| | | | | | | | | 052 | 052 | Advanced Seminar 1 -52 | 今 | 秋2 | | |
| 16091202 | 051 | 051 | 051 | Advanced Seminar 2 -51 | 2 | | ROBERT WILLIAM ASPINALL | 今 | 春2 | | | | | |
| | | | | | | | | 052 | 052 | Advanced Seminar 2 -52 | 今 | 秋2 | | |
| 16091203 | 001 | 001 | 001 | Advanced Seminar 3 -1 | 2 | | 有井 健 | 田 | 秋2 | | | | | |
| | | | | | | | | 051 | 051 | Advanced Seminar 3 -51 | 今 | 春2 | | |
| 16607001 | 001 | 001 | 001 | 京都科目-1 京都学概論 (京の祭と年中行事) | 2 | | 森田 玲 | 田 | 秋2 | | | | | |
| | | | | | | | | 051 | 051 | 京都学概論 (京の祭と年中行事) | 今 | 春2 | | |
| 16607002 | 002 | 002 | 002 | 京都科目-2 華道から見る京都の伝統文化の発展 | 2 | | 塩野 敬子 | 田 | 春2 | | | | | |
| | | | | | | | | 052 | 052 | 京都科目-52 華道から見る京都の伝統文化の発展 | 今 | 秋2 | | |
| 16607003 | 003 | 003 | 003 | 京都科目-3 現代町家論 京都のまちと暮らしを知る | 2 | | 小島富佐江 丹羽 結花 惣司めぐみ | 田 | 春2 | | | | | |
| | | | | | | | | 053 | 053 | 京都科目-53 現代町家論 京都のまちと暮らしを知る | 今 | 秋2 | | |
| 16607004 | 504 | 504 | 504 | 京都科目-504 伝統芸能と祭礼 | 2 | | 北見真智子 | インタ | 春2 | | | | | |
| 16607005 | 055 | 055 | 055 | 京都科目-55 京都、関西を中心とした日本の各地域の茶文化 | 2 | | 佐伯 順子 | 今 | 春集中 | | | | | |

Advanced Seminar 1・2・3 選考試験を実施する。詳細については『登録要領』を参照。国際教養コース(ILA)の学生は登録できない。

京都科目 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。なお、2、52クラスは別途費用が必要であるため注意すること。

15-13年度生

同志社科目

キャリア形成 支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目 自然・人間

先端・複合 領域科目

プロジェクト 科目

外国語教育科目

保健体育科目

| 科目区分 | 配当 年次 | 登録コード | | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育 プログラム 構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間 時間 | 備考 | |
|---------------------------------|----------|----------|----------|---|-------------------------------|---------------------|-------|-------|----------|--|----|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | | |
| 国際 教養 科目 | 1~ | 16607006 | 006 | 京都科目-6 京都文化の本質 | 2 | | 八木 匡 | 田 | 秋2 | クルールジャパン科目 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 クリエイティブ・ジャパン科目 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | |
| | | | 056 | 京都科目-56 京都文化の本質 | | | 河村 晴久 | | | | 今 |
| | 2~ | 16607007 | 057 | 京都科目-57 クリエイティブ伝統産業と文化イノベーション | 2 | | 中原 桜甫 | 今 | 春2 | | |
| | | | 16607302 | 501 | クルールジャパン科目-501 現代日本文化の可能性を探る | 2 | | 森田 玲 | インタ | | 春2 |
| | 1~ | 16607304 | 002 | クルールジャパン科目-2 日本映画 | 2 | | 松山 大耕 | 田 | 今 | | 春2 |
| | | | 052 | クルールジャパン科目-52 日本映画 | | | 遠藤 徹 | | | | |
| | 2~ | 16607306 | 503 | クルールジャパン科目-503 ヒップホップを考える | 2 | | 廣瀬 純 | インタ | 今 | | 春2 |
| 16607601 | | | 501 | クリエイティブ・ジャパン科目-501 創造都市の政策と戦略 | | | 2 | | | | |
| 人 文 科 学 系 科 目 | 16002334 | | 001 | 宗教学(1)-1 宗教と倫理 | 2 | | 谷塚 巖 | 田 | 春2 | 宗教学(1)・宗教学(2) 文学部哲学科生は必修科目である。 心理学部生は「同志社科目」および「宗教学(1)」「宗教学(2)」より4単位以上修得しなければならない。 宗教学(1)-51・54・55 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 宗教学(2)-51・54・55 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 哲学(1)-55 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 哲学(2)-55 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | |
| | | | 002 | 宗教学(1)-2 宗教と倫理 | | | 谷塚 巖 | | | | |
| | | | 051 | 宗教学(1)-51 宗教と倫理 | | | 谷塚 巖 | | | | |
| | | | 054 | 宗教学(1)-54 キリスト教の基礎知識 | | | 近藤 剛 | | | | |
| | | | 055 | 宗教学(1)-55 キリスト教の基礎知識 | | | 近藤 剛 | | | | |
| | 16002335 | | | 001 | 宗教学(2)-1 宗教と言語 | 2 | | 谷塚 巖 | 田 | | 秋2 |
| | | | | 002 | 宗教学(2)-2 宗教と言語 | | | 谷塚 巖 | | | |
| | | | | 051 | 宗教学(2)-51 宗教と言語 | | | 谷塚 巖 | | | |
| | | | | 054 | 宗教学(2)-54 宗教と倫理 | | | 近藤 剛 | | | |
| | | | | 055 | 宗教学(2)-55 宗教と倫理 | | | 近藤 剛 | | | |
| | 16002336 | | | 001 | 哲学(1)-1 古代ギリシア哲学入門 | 2 | | 石田 隆太 | 田 | | 春2 |
| | | | | 002 | 哲学(1)-2 哲学入門 | | | 服部 敬弘 | | | |
| | | | | 051 | 哲学(1)-51 現象学入門 | | | 中村 拓也 | | | |
| | | | | 052 | 哲学(1)-52 黒田直『行為と規範』を読む | | | 江口 克彦 | | | |
| | | | | 053 | 哲学(1)-53 理性的信仰の擁護としてのカント哲学I | | | 藤森 寛 | | | |
| | | | | 054 | 哲学(1)-54 哲学者とその時代(古代を中心に) | | | 荒木 秀夫 | | | |
| | | | | 055 | 哲学(1)-55 哲学入門 | | | 沼田 千恵 | | | |
| | 16002337 | | | 001 | 哲学(2)-1 西洋中世哲学入門 | 2 | | 石田 隆太 | 田 | | 秋2 |
| | | | | 002 | 哲学(2)-2 プラトン『国家』 | | | 服部 敬弘 | | | |
| | | | | 051 | 哲学(2)-51 科学哲学入門 | | | 中村 拓也 | | | |
| | | | | 052 | 哲学(2)-52 魂・心・精神。生きて有ることをめぐって。 | | | 江口 克彦 | | | |
| | | | | 053 | 哲学(2)-53 理性的信仰の擁護としてのカント哲学II | | | 藤森 寛 | | | |
| | | | | 054 | 哲学(2)-54 哲学者とその時代(近代を中心に) | | | 荒木 秀夫 | | | |
| | | | | 055 | 哲学(2)-55 哲学入門 | | | 沼田 千恵 | | | |
| | 16002338 | | | 001 | 倫理学(1)-1 「意志の弱さ」の倫理学 | 2 | | 大槻 晃右 | 田 | | 春2 |
| | | | | 002 | 倫理学(1)-2 技術の倫理 | | | 鬼頭 葉子 | | | |
| | | | | 051 | 倫理学(1)-51 倫理学入門(I) | | | 中野康次郎 | | | |
| | | | | 052 | 倫理学(1)-52 現代社会における正義の意味 | | | 藤森 寛 | | | |
| 053 | | | | 倫理学(1)-53 18世紀以降のドイツ倫理学説——カントを中心として—— | 櫻井 真文 | | | | | | |
| 16002339 | | | 001 | 倫理学(1)-54 ロボット倫理と動物倫理 | 2 | | 松岡健一郎 | 今 | 秋2 | | |
| | | | 001 | 倫理学(2)-1 倫理に真理はあるか——情動主義からのメタ倫理学入門 | | | 大槻 晃右 | | | | |
| | | | 002 | 倫理学(2)-2 動物倫理 | | | 鬼頭 葉子 | | | | |
| | | | 051 | 倫理学(2)-51 倫理学入門(2) | | | 中野康次郎 | | | | |
| | | | 052 | 倫理学(2)-52 生命・環境倫理学の批判的吟味 | | | 藤森 寛 | | | | |
| 16002340 | | | 053 | 倫理学(2)-53 哲学的平和論——カントの『永遠平和のために』の射程と実効性—— | 2 | | 櫻井 真文 | 田 | 春2 | | |
| | | | 054 | 倫理学(2)-54 「笑い」の倫理学 | | | 松岡健一郎 | | | | |
| | | | 001 | 倫理学(1)-1 論理の図像的理解 | | | 新 茂之 | | | | |
| 16002341 | | | 051 | 倫理学(1)-51 公理的集合論入門 | 2 | | 新 茂之 | 今 | 秋2 | | |
| | | | 001 | 倫理学(2)-1 集合についての形式的理解 | | | 新 茂之 | | | | |
| | | | 051 | 倫理学(2)-51 幾何学の基礎 | 2 | | 新 茂之 | 今 | | | |

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然・人間
科学系科目

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード | | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間時間 | 備考 | | | | |
|---------|----------|----------|-------------------------------------|---|-----------------------------|-------------|----------------|----------------|------|---|--|----|---|---|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | | | | | |
| 人文科学系科目 | 1~ | 16002358 | 001 | | 論理的思考の基礎(1)-1 日常言語で学ぶ論理的思考 | 2 | DDASH | 下嶋 篤 佐々木 崇 | 田 | 春2 | 論理的思考の基礎(1) 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | | | |
| | | | 002 | | 論理的思考の基礎(1)-2 日常言語で学ぶ論理的思考 | | | 野坂 宜正 佐々木 崇 | | | | | | |
| | | | 003 | | 論理的思考の基礎(1)-3 日常言語で学ぶ論理的思考 | | | 佐々木 崇 伊藤 謙佑 | | | | | | |
| | | | 051 | | 論理的思考の基礎(1)-51 日常言語で学ぶ論理的思考 | | | 野坂 宜正 小川 雄 | | | | | | |
| | | | 052 | | 論理的思考の基礎(1)-52 日常言語で学ぶ論理的思考 | | | 新 茂之 大槻 晃右 | | | | | | |
| | | 16002359 | 001 | | 論理的思考の基礎(2)-1 論理言語で学ぶ論理的思考 | 2 | DDASH | 佐々木 崇 河瀬 彰宏 | 田 | | | 秋2 | 論理的思考の基礎(2) 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | |
| | | | 002 | | 論理的思考の基礎(2)-2 論理言語で学ぶ論理的思考 | | | 下嶋 篤 佐々木 崇 | | | | | | |
| | | | 003 | | 論理的思考の基礎(2)-3 論理言語で学ぶ論理的思考 | | | 佐々木 崇 伊藤 謙佑 | | | | | | |
| | | | 051 | | 論理的思考の基礎(2)-51 論理言語で学ぶ論理的思考 | | | 野坂 宜正 小川 雄 | | | | | | |
| | | | 052 | | 論理的思考の基礎(2)-52 論理言語で学ぶ論理的思考 | | | 新 茂之 大槻 晃右 | | | | | | |
| | 16002360 | 001 | | 論理的思考の応用(1)-1 論理外要因の認識と統制 | 2 | DDASH | 佐々木 崇 伊藤 謙佑 | 田 | 春2 | 論理的思考の応用(1) 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。2013年度以前生は登録できない。 | | | | |
| | | 002 | | 論理的思考の応用(1)-2 論理外要因の認識と統制 | | | 佐々木 崇 野坂 宜正 | | | | | | | |
| | | 051 | | 論理的思考の応用(1)-51 論理外要因の認識と統制 | | | 下嶋 篤 野坂 宜正 | | | | | | | |
| | | 052 | | 論理的思考の応用(1)-52 論理外要因の認識と統制 | | | 小川 雄 大槻 晃右 | | | | | | | |
| | 16002361 | 001 | | 論理的思考の応用(2)-1 論理的コミュニケーションの技術 | 2 | DDASH | 佐々木 崇 野坂 宜正 | 田 | | | 秋2 | | | 論理的思考の応用(2) 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。2013年度以前生は登録できない。 |
| | | 002 | | 論理的思考の応用(2)-2 論理的コミュニケーションの技術 | | | 佐々木 崇 野坂 宜正 | | | | | | | |
| | | 051 | | 論理的思考の応用(2)-51 論理的コミュニケーションの技術 | | | 下嶋 篤 野坂 宜正 | | | | | | | |
| | | 052 | | 論理的思考の応用(2)-52 論理的コミュニケーションの技術 | | | 小川 雄 大槻 晃右 | | | | | | | |
| | 16002344 | 001 | | 芸術学(1)-1 近現代日本の視覚文化 | 2 | | 前川 志織 | 田 | | | | 春2 | 芸術学(1)-51-52 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | |
| | | 002 | | 芸術学(1)-2 日本のグラフィック・デザイン史 | | | 熊倉 一紗 | | | | | | | |
| | | 051 | | 芸術学(1)-51 「芸術」とは何か? | | | 立野 良介 | | | | | | | |
| | | 052 | | 芸術学(1)-52 芸術作品における美の多様性を楽しみましようー古代ギリシアから現代までー | | | 土肥 泰子 | | | | | | | |
| | | 053 | | 芸術学(1)-53 ロマン主義と芸術 | | | 村上 真樹 | | | | | | | |
| | | 054 | | 芸術学(1)-54 キリスト教図像学 | | | 嶋谷 昭彦 | | | | | | | |
| | | 055 | | 芸術学(1)-55 写真の歴史と現在 | | | 高橋 千晶 | | | | | | | |
| | | 058 | | 芸術学(1)-58 「音楽作品」概念の歴史 | | | 船木 理悠 | | | | | | | |
| | 16002345 | 001 | | 芸術学(2)-1 古典文学の絵画 | 2 | | 村木 桂子 | 田 | 秋2 | 芸術学(2)-53-54 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | | | | |
| | | 002 | | 芸術学(2)-2 19世紀後半におけるウィーンの芸術(ウィーン分離派と世紀末美術) | | | 前田 朋美 | | | | | | | |
| 051 | | | 芸術学(2)-51 芸術作品を通した人間存在についての探求 | 今村美邦子 | | | | | | | | | | |
| 052 | | | 芸術学(2)-52 芸術作品を通した人間存在についての探求 | 今村美邦子 | | | | | | | | | | |
| 053 | | | 芸術学(2)-53 モダン・アート入門 | 高橋 千晶 | | | | | | | | | | |
| 054 | | | 芸術学(2)-54 近代の芸術と芸術理論 | 立野 良介 | | | | | | | | | | |
| 055 | | | 芸術学(2)-55 西洋美術における古代ギリシャ・ローマ文化の位置づけ | 小松原 郁 | | | | | | | | | | |
| 056 | | | 芸術学(2)-56 西洋美術と美的仮象の歴史 | 高藤 大樹 | | | | | | | | | | |

15-13年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード 科目コード クラスコード | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム 構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間 時間 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|-------|-----------------------|---|----------------------------|-----------------|----------|----|---|--|--------------------------------------|----------------------------------|---|----------|--------------------------------|---|----|--|----------|----------------------------------|-------|---|-------|---|--|--|----------|-----------------------------------|---|--|---|---|----|--|
| 同志社科目 | | 16002346 | 001 日本史(1)-1 日本列島における古代国家形成 | 2 | | 若林 邦彦 | 田 | 春2 | 日本史(1)・日本史(2) 文学部文化史学科生は登録 することが望ましい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 002 日本史(1)-2 江戸時代の身分社会-近年解明されてきたことを中心に- | | | 小林ひろみ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 051 日本史(1)-51 社会と救済 | | | 小林 文広 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 052 日本史(1)-52 中近世における国家権力と宗教 | | | 前田 一郎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 053 日本史(1)-53 中世の戦乱と秩序 | | | 山本 晋平 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 054 日本史(1)-54 武士・武家政権と京都(1) | | | 山田 徹 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 055 日本史(1)-55 日本古代の宗教文化 | | | 松本 公一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 056 日本史(1)-56 近世・近代の日本思想史 | | | 小田 龍哉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 057 日本史(1)-57 日本古代の祭祀と法(1) | | | 久禮 旦雄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 058 日本史(1)-58 日本列島における古代国家形成 | | | 若林 邦彦 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| キャリア形成 支援科目 | | 16002346 | 059 日本史(1)-59 医学からのアプローチ-共同体としての思想~ | 2 | | 近藤 裕樹 | 今 | | 日本史(1)-53 法・商・グローバル地域文 化学部生は登録できない。 日本史(1)-54・57 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 060 日本史(1)-60 天皇家の親子関係の歴史 | | | 岩田真由子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 061 日本史(1)-61 近代京都の歴史 | | | 川口 朋子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 国際教養科目 | | | | | | | 16002347 | 001 日本史(2)-1 同志社前史 | 2 | | 浜中 邦弘 | 田 | 秋2 | 日本史(2)-54・57・58 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 002 日本史(2)-2 大正期の社会と思想・文化思潮 | | | 久野譲太郎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 051 日本史(2)-51 博覧会をめぐる | | | 小林 文広 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 052 日本史(2)-52 近世における国家権力と宗教 | | | 前田 一郎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 053 日本史(2)-53 近世初頭の政治権力と思想 | | | 山本 晋平 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 054 日本史(2)-54 武士・武家政権と京都(2) | | | 山田 徹 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 055 日本史(2)-55 日本中世・近世の宗教文化 | | | 松本 公一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 056 日本史(2)-56 「列島」の戦後日本文化史 | 小田 龍哉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 057 日本史(2)-57 日本古代の祭祀と法(2) | 久禮 旦雄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 058 日本史(2)-58 同志社前史 | 浜中 邦弘 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人文科学系科目 | 1~ | 16002347 | 059 日本史(2)-59 医学からのアプローチ-個人としての思想~ | 2 | | 近藤 裕樹 | 今 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 060 日本史(2)-60 日本の家族史・ライフサイクルの歴史 | | | 岩田真由子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 061 日本史(2)-61 資料で読む戦後日本のあゆみ | | | 川口 朋子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 社会科学系科目 | | | | | | | 16002348 | 001 東洋史(1)-1 伝統中国社会の多面的な構造を理解する | 2 | | 細井 和彦 | 田 | 春2 | 東洋史(1)・東洋史(2) 文学部文化史学科生は登録 することが望ましい。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 051 東洋史(1)-51 「海域アジア(史)」から見るアジア史 | | | 富田 暁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 052 東洋史(1)-52 中国近現代史理解のための基礎知識I | | | 荻 恵里子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 自然・人間 科学系科目 | | | | | | | 16002348 | 052 東洋史(1)-52 中国近現代史理解のための基礎知識I | 2 | | 富田 暁 | 今 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 051 東洋史(1)-51 「海域アジア(史)」から見るアジア史 | | | 荻 恵里子 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 先端・複合 領域科目 | | | | | | | 16002349 | 001 東洋史(2)-1 中国近代社会にとって「近代化」とは何か? | 2 | | 細井 和彦 | 田 | 秋2 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 051 東洋史(2)-51 「海域アジア史」から見るアジア史 | | | 富田 暁 | | | |
| 052 東洋史(2)-52 中国近現代史理解のための基礎知識II | 荻 恵里子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| プロジェクト 科目 | | 16002350 | | 001 西洋史(1)-1 ヨーロッパ近代史 | 2 | | | 河合 竜太 | 田 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 春2 | | | 西洋史(1)・西洋史(2) 文学部文化史学科生は登録 することが望ましい。 西洋史(1)-51 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 | | | |
| | | | | 051 西洋史(1)-51 「食べ物」から見る世界史 | | | | 宮下 敬志 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 052 西洋史(1)-52 オリент学から見た西洋古代史 | 藤井 信之 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 053 西洋史(1)-53 ナショナリズムと国民形成から見た近代ドイツ史 | 吉門 昌宏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 外国語教育科目 | | | 16002351 | | 001 西洋史(2)-1 古代ローマ都市文明の様相-ポンペイ遺跡の事例を中心に | | 2 | | | 坂井 聡 | | 田 | 秋2 | 西洋史(2)-52 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 西洋史(2)-53 社会・経済・政策学部生は 登録できない。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 051 西洋史(2)-51 近現代イギリス史 | | | 大谷 誠 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 052 西洋史(2)-52 文化史からみたヨーロッパ近代史 | | | 河合 竜太 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 053 西洋史(2)-53 西洋中世における知と社会 | | | 梶原 洋一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 保健体育科目 | | | | | 16002352 | 001 考古学(1)-1 出土陶磁器にみる日本と世界 | | | | 2 | | 角谷江津子 | 田 | 春2 | 考古学(1)-52 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 考古学(1)-54 法・商・グローバル地域文 化学部生は登録できない。 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | 002 考古学(1)-2 考古学の方法と弥生~古墳時代の社会 | | | | | | 若林 邦彦 | | | | | | | | | | | | | |
| 051 考古学(1)-51 装身具からみた弥生・古墳時代の社会 | 廣瀬 時習 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 052 考古学(1)-52 瓦・寺院・藤原摂関家 | 浜中 邦弘 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 053 考古学(1)-53 埴輪の考古学 | 辻川 哲朗 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 054 考古学(1)-54 弥生時代の生活と文化 | 藤田 三郎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 055 考古学(1)-55 考古学から見る人と文化 | 中村 潤子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 16002353 | 001 考古学(2)-1 平安時代を主に | 2 | | 浜中 邦弘 | 田 | | 秋2 | 考古学(2)-53 社会・経済・政策学部生は 登録できない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 002 考古学(2)-2 平安時代を主に | | | 浜中 邦弘 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 051 考古学(2)-51 鉄の考古学 | | | 大道 和人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 052 考古学(2)-52 弥生~古墳時代の社会 | | | 若林 邦彦 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 053 考古学(2)-53 遺跡はなぜ大切か | | | 佐古 和枝 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 054 考古学(2)-54 弥生~古墳時代の社会 | | | 若林 邦彦 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 055 考古学(2)-55 考古学を楽しもう | | | 中川 和哉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード | | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間時間 | 備考 |
|----------|---------|----------|-----------------------|----------------|--------------------------|-------------|-------|----|------|---|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | |
| 人文科学系科目 | 1~ | 16002354 | 001 | 日本語(1)-1 | 身近な言語事象から考える日本語 | 2 | 梶原 雄 | 田 | 春2 | 日本語(1)・日本語(2) 文学部国文学科生は登録することが望ましい。 日本語(1)-51 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 日本語(2)-51 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 日本文学(1)・日本文学(2) 文学部国文学科生は登録することが望ましい。 |
| | | | 002 | 日本語(1)-2 | 身近な言語事象から考える日本語 | | | 今 | | |
| | | | 051 | 日本語(1)-51 | 身近な言語事象から考える日本語 | | | 今 | | |
| | | 16002355 | 001 | 日本語(2)-1 | 人と社会をつなぐ日本語 | 2 | 梶原 雄 | 田 | 秋2 | |
| | | | 002 | 日本語(2)-2 | 人と社会をつなぐ日本語 | | | 今 | | |
| | | | 051 | 日本語(2)-51 | 人と社会をつなぐ日本語 | | | 今 | | |
| | | 16002356 | 001 | 日本文学(1)-1 | 明治の長篇小説を読む(1) | 2 | 坂崎 恭平 | 田 | 春2 | |
| | | | 051 | 日本文学(1)-51 | 『平家物語』の灌頂巻を読む | | | 今 | | |
| | | 16002357 | 001 | 日本文学(2)-1 | 明治の長篇小説を読む(2) | 2 | 坂崎 恭平 | 田 | 秋2 | |
| | | | 051 | 日本文学(2)-51 | 『平家物語』の最期巻を読む | | | 今 | | |
| | | 16000304 | | | ドイツ文学 概要と作品分析 | 2 | 大木 清香 | 田 | 春2 | |
| | | 16000305 | | | フランス文学 バルザック作品におけるオペラの表象 | 2 | 山崎 恭宏 | 田 | 秋2 | |
| | | 16000306 | | | 中国文学 中国古典詩文の世界 | 2 | 副島 一郎 | 今 | 春2 | |
| 16000307 | | | スペイン文学 中世から現代におけるまで | 2 | DIAZ SANCHO IVAN | 今 | 秋2 | | | |
| 16000308 | | | ラテンアメリカ文学 現代ラテンアメリカ文学 | 2 | 立林 良一 | 今 | 春2 | | | |
| 16000309 | | | ロシア文学 現代文化の中のロシア文学 | 2 | 中野 幸男 | 今 | 秋2 | | | |
| 社会科学系科目 | 1~ | 16003402 | 001 | 法学1-1 | 刑事法と民事法を中心に | 2 | 竹村 和也 | 田 | 春2 | 法学1・法学2 政策学部生は登録できない。法学部の卒業必要単位数には含まれない。 政治学1・政治学2 政策学部生は登録できない。法学部の卒業必要単位数には含まれない。 経済学1・経済学2 社会学部産業関係学科生・政策学部生は登録できない。商学部生は登録することが望ましい。経済学部の卒業必要単位数には含まれない。 商学 商学部生は登録できない。 |
| | | | 051 | 法学1-51 | 基礎から始めてちょっと深掘り | | | 今 | | |
| | | | 052 | 法学1-52 | 社会に生きる法 | | | 今 | | |
| | | | 053 | 法学1-53 | 社会に生きる法 | | | 今 | | |
| | | 16003403 | 011 | 法学2-11 | 日本国憲法を中心にして | 2 | 竹村 和也 | 田 | 秋2 | |
| | | | 061 | 法学2-61 | 法学の入門 | | | 今 | | |
| | | | 062 | 法学2-62 | 法解釈と法的交渉 | | | 今 | | |
| | | | 063 | 法学2-63 | マイノリティと法 | | | 今 | | |
| | | | 064 | 法学2-64 | 法の基礎と代表的な法分野の学習 | | | 今 | | |
| | | | 065 | 法学2-65 | 学生生活と法律 | | | 今 | | |
| | | 16003400 | 001 | 政治学1-1 | 国際社会と日本 | 2 | 中西 友汰 | 田 | 春2 | |
| | | | 051 | 政治学1-51 | 政治学と公共政策 | | | 今 | | |
| | | | 052 | 政治学1-52 | 西洋政治思想入門 | | | 今 | | |
| | | | 053 | 政治学1-53 | 統治・正義・参加 | | | 今 | | |
| | | | 054 | 政治学1-54 | 統治・正義・参加 | | | 今 | | |
| | | | 055 | 政治学1-55 | 政治と社会問題 | | | 今 | | |
| | | 16003401 | 011 | 政治学2-11 | アジア経済外交 | 2 | 大崎 祐馬 | 田 | 秋2 | |
| | | | 061 | 政治学2-61 | 外国人政策 | | | 今 | | |
| | | | 062 | 政治学2-62 | 現代政治理論 | | | 今 | | |
| | | | 063 | 政治学2-63 | 現代政治理論 | | | 今 | | |
| | | | 064 | 政治学2-64 | 現代政治理論 | | | 今 | | |
| | | | 065 | 政治学2-65 | 西洋/非西洋の政治思想の視点から | | | 今 | | |
| | | | 066 | 政治学2-66 | 現代日本政治の第一歩 | | | 今 | | |
| | | 16004400 | 001 | 経済学1-1 | ミクロ経済学の基礎 | 2 | 小田 勇一 | 田 | 秋2 | |
| | | | 051 | 経済学1-51 | ミクロ経済学入門 | | | 今 | | |
| | | | 052 | 経済学1-52 | ミクロ経済学入門 | | | 今 | | |
| | | 16004401 | 001 | 経済学2-1 | マクロ経済学の基礎 | 2 | 小田 勇一 | 田 | 春2 | |
| 051 | 経済学2-51 | | マクロ経済学入門 | 今 | | | | | | |
| 16005400 | 001 | 商学-1 | 現代企業と事業システム | 2 | 加藤 康 | 田 | 春2 | | | |
| | 002 | 商学-2 | 経営管理の理論と実践 | | | 今 | | | | |
| | 051 | 商学-51 | 国際商取引の実務 | | | 今 | | | | |
| | 052 | 商学-52 | 現代日本企業と生産管理 | | | 今 | | | | |

15-13年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード 科目コード クラスコード | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム 構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間 時間 | 備考 | | |
|------------------------------|-------|-----------------------|---------------------------------------|----|-----------------|--|-----|----------|---|----|---|
| 同志社科目 | | 16008400 | 001 データサイエンス概論-1 デジタル社会の“論語と算盤” | 2 | DDASH | 宿久 洋 瀬領 真悟 野々村和喜 土屋 誠司 岡部 格明 | インタ | 春2 | データサイエンス概論 2015年度生の科目である。 | | |
| | | | 002 データサイエンス概論-2 デジタル社会の“論語と算盤” | | | 宿久 洋 瀬領 真悟 野々村和喜 土屋 誠司 岡部 格明 | | 秋2 | | | |
| キャリア形成 支援科目 | | 16008503 | 001 データサイエンス基礎-1 現代社会の共通言語 | 2 | DDASH | 宿久 洋 岡部 格明 | 田 | 春2 | データサイエンス基礎 データエンジニアリング基礎 AI基礎 2015年度生の科目である。 履修には「データサイエンス 概論」の単位修得が必要 である。 | | |
| | | | 002 データサイエンス基礎-2 現代社会の共通言語 | | | 宿久 洋 岡部 格明 | | 秋2 | | | |
| | | | 051 データサイエンス基礎-51 現代社会の共通言語 | | | 宿久 洋 岡部 格明 | | 春2 | | | |
| | | | 052 データサイエンス基礎-52 現代社会の共通言語 | | | 宿久 洋 岡部 格明 | | 秋2 | | | |
| 国際教養科目 | | 16008504 | 001 データエンジニアリング基礎-1 現代社会の共通言語 | 2 | DDASH | 波多野賢治 | 田 | 春2 | | | |
| | | | 002 データエンジニアリング基礎-2 現代社会の共通言語 | | | 波多野賢治 | | 秋2 | | | |
| | | | 051 データエンジニアリング基礎-51 現代社会の共通言語 | | | 波多野賢治 | | 春2 | | | |
| | | | 052 データエンジニアリング基礎-52 現代社会の共通言語 | | | 波多野賢治 | | 秋2 | | | |
| 人文科学系科目 | | 16008505 | 001 A I 基礎-1 現代社会の共通言語 | 2 | DDASH | 土屋 誠司 | 田 | 春2 | | | |
| | | | 002 A I 基礎-2 現代社会の共通言語 | | | 土屋 誠司 | | 秋2 | | | |
| | | | 051 A I 基礎-51 現代社会の共通言語 | | | 土屋 誠司 | | 春2 | | | |
| | | | 052 A I 基礎-52 現代社会の共通言語 | | | 土屋 誠司 | | 秋2 | | | |
| 社会科学系科目 | 1~ | 16008500 | 001 データサイエンス 1-1 教養としての統計入門 | 2 | DDASH | 土田 潤 | 田 | 春2 | データサイエンス1-4 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 | | |
| | | | 002 データサイエンス 1-2 統計学の入口 | | | 竹野 倫彰 | | | | | |
| | | | 003 データサイエンス 1-3 わかりやすい統計学-データサイエンス基礎 | | | 森本 栄一 | | | | | |
| | | | 004 データサイエンス 1-4 社会と統計リテラシー | | | 大森 崇 | | | | | |
| | | | 005 データサイエンス 1-5 統計学の初歩 | | | 竹野 倫彰 | | | | | |
| | | | 006 データサイエンス 1-6 データサイエンスの基礎と応用 | | | 江崎 剛史 | | | | | |
| | | | 007 データサイエンス 1-7 統計学入門 | | | 藤井 孝之 | | | | | |
| | | | 051 データサイエンス 1-51 教養としての統計学入門 | | | 阿部 貴行 | | | | | |
| | | | 052 データサイエンス 1-52 データサイエンス入門 | | | 山田 隆行 | | | | | |
| | | | 053 データサイエンス 1-53 データサイエンス入門 | | | 原 尚幸 | | | | | |
| | | | 001 データサイエンス 2-1 Rを用いたデータ分析 | | | 藤井 孝之 | | | | | |
| | | | 002 データサイエンス 2-2 メディアデータをチェックする統計解析 | | | 濱田 悦生 | | | | | |
| | | | 003 データサイエンス 2-3 統計的推測の基礎 | | | 大森 崇 | | | | | |
| 004 データサイエンス 2-4 調査と分析のための統計 | 森本 栄一 | | | | | | | | | | |
| 051 データサイエンス 2-51 社会調査のすすめ | 堀 兼大朗 | | | | | | | | | | |
| 052 データサイエンス 2-52 データ分析入門 | 阿部 貴行 | | | | | | | | | | |
| 053 データサイエンス 2-53 Rを用いた統計解析 | 山田 隆行 | | | | | | | | | | |
| 054 データサイエンス 2-54 統計と人工知能入門 | 原 尚幸 | | | | | | | | | | |
| 自然・人間 科学系科目 | 1~ | 16008501 | 001 データサイエンス 2-1 Rを用いたデータ分析 | 2 | DDASH | 藤井 孝之 | インタ | 春2 | データサイエンス2-3・51・53 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 | | |
| | | | 002 データサイエンス 2-2 メディアデータをチェックする統計解析 | | | 濱田 悦生 | | | | | |
| | | | 003 データサイエンス 2-3 統計的推測の基礎 | | | 大森 崇 | | | | | |
| | | | 004 データサイエンス 2-4 調査と分析のための統計 | | | 森本 栄一 | | | | | |
| | | | 051 データサイエンス 2-51 社会調査のすすめ | | | 堀 兼大朗 | | | | | |
| | | | 052 データサイエンス 2-52 データ分析入門 | | | 阿部 貴行 | | | | | |
| | | | 053 データサイエンス 2-53 Rを用いた統計解析 | | | 山田 隆行 | | | | | |
| | | | 054 データサイエンス 2-54 統計と人工知能入門 | | | 原 尚幸 | | | | | |
| | | | 001 数学-1 数学入門 | | | 木村 和広 | | 田 | | 春2 | 数学 「数学1」または「数学2」の 単位を修得済の場合、登録 できない。 理工学部数理システム学科 の卒業必要単位数には含ま れない。 |
| | | | 002 数学-2 線形代数入門 | | | 塩田隆比呂 | | | | | |
| | | | 003 数学-3 ランダムウォークによる確率論入門 | | | 竹山 理 | | | | | |
| | | | 004 数学-4 文明のゆりかご期の「算術」から現代数学へ | | | 磯 祐介 | | | | | |
| | | | 005 数学-5 ベイズ統計入門 | | | 竹山 理 | | 今 | | 春2 | 数学-52・55・56・59 先行登録科目である。詳細に ついては『登録要領』を参照。 |
| 006 数学-6 数学と理工学 | 大川 領 | | | | | | | | | | |
| 051 数学-51 線形代数 | 朝田 衛 | | | | | | | | | | |
| 052 数学-52 確率の基礎と応用 | 藤田 成隆 | | | | | | | | | | |
| 054 数学-54 整数の初歩及び平行線の公理 | 朝田 衛 | 今 | 秋2 | | | | | | | | |
| 055 数学-55 確率の基礎と応用 | 藤田 成隆 | | | | | | | | | | |
| 056 数学-56 数学とコンピュータ | 藤田 成隆 | | | | | | | | | | |
| 058 数学-58 微分積分の初歩 | 大塚 研一 | | | | | | | | | | |
| 059 数学-59 数学とコンピュータ | 藤田 成隆 | | | | | | | | | | |

※科目区分「自然・人間科学系科目」は、DUET 上では「自然科学系科目」と表示されます。（「心理学1・2」を除く）

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード | | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間時間 | 備考 | | | |
|------------|-------------|--------------|-------------|----------------------|--------------------------|-------------|-------------------|----|---|--|----|----|---|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | | | | |
| 自然・人間科学系科目 | 1~ | 16016701 | 001 | 物理学-1 | 概説及び入門 | 2 | 喜綿 洋人 | 田 | 春2 | 物理学「物質の科学1」または「物質の科学2」の単位を修得済の場合、登録できない。 | | | |
| | | | 002 | 物理学-2 | 概説及び入門 | | 喜綿 洋人 | | | | | | |
| | | | 003 | 物理学-3 | 物理的手法の物質科学への適用 | | 喜綿 洋人 | | 秋2 | | | | |
| | | | 004 | 物理学-4 | 物理的手法の物質科学への適用 | | 喜綿 洋人 | | | | | | |
| | | | 051 | 物理学-51 | 物質とその運動 | | 藤 定義 | 今 | 春2 | | | | |
| | | | 052 | 物理学-52 | 物質とその運動 | | 藤 定義 | | | | | | |
| | | | 053 | 物理学-53 | パターン形成論：身の回りの自然・社会現象を考える | | 戸田 幹人 | | | | | | |
| | | | 054 | 物理学-54 | パターン形成論：身の回りの自然・社会現象を考える | | 戸田 幹人 | | | | | | |
| | | | 055 | 物理学-55 | 物質の見せる様々な様相 | | 藤 定義 | | 秋2 | | | | |
| | | | 056 | 物理学-56 | 物質の見せる様々な様相 | | 藤 定義 | | | | | | |
| | | | 057 | 物理学-57 | カオス現象：科学における偶然と必然 | | 戸田 幹人 | | | | | | |
| | | | 058 | 物理学-58 | カオス現象：科学における偶然と必然 | | 戸田 幹人 | | | | | | |
| | | | 16016702 | 001 | 化学-1 | | 原子の話 | 2 | 吉村 一良 | | 田 | 春2 | 化学「物質の科学1」または「物質の科学2」の単位を修得済の場合、登録できない。 |
| | | | | 002 | 化学-2 | | 原子の話 | | 吉村 一良 | | | | |
| | | | | 003 | 化学-3 | | 原子やイオンの中での電子の振る舞い | | 吉村 一良 | | 秋2 | | |
| | | | | 004 | 化学-4 | | 原子やイオンの中での電子の振る舞い | | 吉村 一良 | | | | |
| | | | | 051 | 化学-51 | | 原子の話 | | 吉村 一良 | | 今 | 春2 | |
| | | | | 052 | 化学-52 | | 原子やイオンの中での電子の振る舞い | | 吉村 一良 | | | | |
| | 16016703 | 001 | 地球と宇宙の科学-1 | 地震・火山・地すべりの仕組みと防災・減災 | 2 | 土井 一生 | 田 | 春2 | 地球と宇宙の科学「地球と宇宙の科学1」または「地球と宇宙の科学2」の単位を修得済の場合、登録できない。 | | | | |
| | | 002 | 地球と宇宙の科学-2 | 地球変動学入門 | | 田上 高広 | | | | | | | |
| | | 003 | 地球と宇宙の科学-3 | 固体地球科学入門 | | 玉井 雅人 | | | | | | | |
| | | 004 | 地球と宇宙の科学-4 | 地震・火山・地すべりの仕組みと防災・減災 | | 土井 一生 | | | | | | | |
| | | 005 | 地球と宇宙の科学-5 | 固体地球科学入門 | | 玉井 雅人 | | 秋2 | | | | | |
| | | 007 | 地球と宇宙の科学-7 | 固体地球科学入門 | | 玉井 雅人 | | | | | | | |
| | | 008 | 地球と宇宙の科学-8 | 地球変動学入門 | | 田上 高広 | | | | | | | |
| | | 009 | 地球と宇宙の科学-9 | 固体地球科学入門 | | 玉井 雅人 | | | | | | | |
| | | 010 | 地球と宇宙の科学-10 | ジュラシックパークの終焉 | | 渋谷 秀敏 | 今 | 春2 | | | | | |
| | | 051 | 地球と宇宙の科学-51 | 太陽系天文学 | | 西村 昌能 | | | | | | | |
| | | 052 | 地球と宇宙の科学-52 | 太陽系天文学 | | 西村 昌能 | | | | | | | |
| | | 053 | 地球と宇宙の科学-53 | 地球変動学入門 | | 田上 高広 | | | | | | | |
| | | 054 | 地球と宇宙の科学-54 | ジュラシックパークの終焉 | | 渋谷 秀敏 | | | | | | | |
| | | 055 | 地球と宇宙の科学-55 | ジュラシックパークの終焉 | | 渋谷 秀敏 | | | | | | | |
| 056 | 地球と宇宙の科学-56 | 地球変動学入門 | 田上 高広 | 秋2 | | | | | | | | | |
| 057 | 地球と宇宙の科学-57 | 宇宙と宇宙生命を考える | 西村 昌能 | | | | | | | | | | |
| 058 | 地球と宇宙の科学-58 | 宇宙と宇宙生命を考える | 西村 昌能 | | | | | | | | | | |
| 059 | 地球と宇宙の科学-59 | 地球変動学入門 | 田上 高広 | | | | | | | | | | |
| 060 | 地球と宇宙の科学-60 | ジュラシックパークの終焉 | 渋谷 秀敏 | 今 | 秋2 | | | | | | | | |
| 061 | 地球と宇宙の科学-61 | ジュラシックパークの終焉 | 渋谷 秀敏 | | | | | | | | | | |
| 062 | 地球と宇宙の科学-62 | 地球変動学入門 | 田上 高広 | | | | | | | | | | |

15-13年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然・人間
科学系科目

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

※科目区分「自然・人間科学系科目」は、DUET上では「自然科学系科目」と表示されます。（「心理学1・2」を除く）

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード 科目コード | クラス | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム 構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間 時間 | 備考 | | | | | | | | | | |
|------------|------|----------------|-----|----------------|--------------------------|-----------------|-----|----|----------|--|----------|--|------------|--------------------------------|---|-------|---|----|---|----------|
| 自然・人間科学系科目 | 1~ | 16016704 | | 001 | 生命の科学-1 生物多様性の進化と保全 | 2 | | 田 | 春2 | 生命の科学 「生命の科学1」または「生命の科学2」の単位を修得済の場合、登録できない。 | | | | | | | | | | |
| | | | | 002 | 生命の科学-2 ランの生物学 | | | | | | 加藤 真 | | | | | | | | | |
| | | | | 003 | 生命の科学-3 ランの生物学 | | | | | | 鈴木 玲子 | | | | | | | | | |
| | | | | 004 | 生命の科学-4 生物多様性の進化と保全 | | | | | | 鈴木 玲子 | | | | | | | | | |
| | | | | 005 | 生命の科学-5 化学からの考察 | | | | | | 加藤 真 | | | | | | | | | |
| | | | | 006 | 生命の科学-6 数理生物学 | | | | | | 松本 浩一 | | | | | | | | | |
| | | | | 007 | 生命の科学-7 植物科学基礎 | | | | | | 伊藤 公一 | | | | | | | | | |
| | | | | 010 | 生命の科学-10 菌類生態学 | | | | | | 鈴木 玲子 | | | | | | | | | |
| | | | | 011 | 生命の科学-11 植物科学基礎 | | | | | | 鈴木 玲子 | | | | | | | | | |
| | | | | 051 | 生命の科学-51 無脊椎動物の自然史 | | | | | | 松岡 俊将 | | | | | | | | | |
| | | | | 052 | 生命の科学-52 ヒトと生命科学 | | | | | | 鈴木 玲子 | | | | | | | | | |
| | | | | 053 | 生命の科学-53 ヒトと生命科学 | | | | | | 鈴木 玲子 | | | | | | | | | |
| | | | | 054 | 生命の科学-54 無脊椎動物の自然史 | | | | | | 西川 完途 | | | | | | | | | |
| | | | | 055 | 生命の科学-55 生物の多様性と進化 | | | | | | 河本 恭子 | | | | | | | | | |
| | | | | 056 | 生命の科学-56 生物の多様性と進化 | | | | | | 河本 恭子 | | | | | | | | | |
| | | | | 058 | 生命の科学-58 ビタミンの健康科学 | | | | | | 西川 完途 | | | | | | | | | |
| | | | | 059 | 生命の科学-59 生物多様性の進化と保全 | | | | | | 加藤 真 | | | | | | | | | |
| | | | | 060 | 生命の科学-60 生物多様性の進化と保全 | | | | | | 加藤 真 | | | | | | | | | |
| | | | | 061 | 生命の科学-61 脊椎動物の自然史 | | | | | | 市川 寛 | | | | | | | | | |
| | | | | 062 | 生命の科学-62 細胞と分子の生物学 | | | | | | 藤原摩耶子 | | | | | | | | | |
| | | | | 063 | 生命の科学-63 細胞と分子の生物学 | | | | | | 藤原摩耶子 | | | | | | | | | |
| | | | | 064 | 生命の科学-64 脊椎動物の自然史 | | | | | | 西川 完途 | | | | | | | | | |
| | | | | 065 | 生命の科学-65 脊椎動物の自然史 | | | | | | 西川 完途 | | | | | | | | | |
| | | | | 066 | 生命の科学-66 生物多様性の進化と保全 | | | | | | 藤原摩耶子 | | | | | | | | | |
| | | | | 067 | 生命の科学-67 生物の共生と生態系 | | | | | | 加藤 真 | | | | | | | | | |
| | | | | 068 | 生命の科学-68 生物の共生と生態系 | | | | | | 加藤 真 | | | | | | | | | |
| | | | | 069 | 生命の科学-69 生物多様性の進化と保全 | | | | | | 藤原摩耶子 | | | | | | | | | |
| | | | | 070 | 生命の科学-70 細胞と分子の科学 | | | | | | 石川 文洋 | | | | | | | | | |
| | | | | 自然・人間科学系科目 | 1~ | | | | | | 16016705 | | 001 | 科学史・科学論-1 科学史入門 | 2 | | 田 | 春2 | 科学史・科学論 「科学史・科学論1」または「科学史・科学論2」の単位を修得済の場合、登録できない。 科学史・科学論-1・4・6 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | |
| | | | | | | | | | | | | | 002 | 科学史・科学論-2 層のしくみと歴史 | | | | | | 但馬 亨 |
| | | | | | | | | | | | | | 003 | 科学史・科学論-3 層のしくみと歴史 | | | | | | 池山 説郎 |
| | | | | | | | | | | | | | 004 | 科学史・科学論-4 科学史入門 | | | | | | 池山 説郎 |
| | | | | | | | | | | | | | 005 | 科学史・科学論-5 科学史入門 | | | | | | 但馬 亨 |
| | | | | | | | | | | | | | 006 | 科学史・科学論-6 現代科学史 | | | | | | 但馬 亨 |
| | | | | | | | | | | | | | 007 | 科学史・科学論-7 現代科学史 | | | | | | 但馬 亨 |
| | | | | | | | | | | | | | 051 | 科学史・科学論-51 自然科学史を学ぶ | | | | | | 市川 浩 |
| | | | | | | | | | | | | | 052 | 科学史・科学論-52 自然科学史を学ぶ | | | | | | 市川 浩 |
| | | | | | | | | | | | | | 054 | 科学史・科学論-54 層のしくみと歴史 | | | | | | 池山 説郎 |
| | | | | | | | | | | | | | 056 | 科学史・科学論-56 実践的数学史入門 | | | | | | 池山 説郎 |
| | | | | | | | | | | | | | 057 | 科学史・科学論-57 実践的数学史入門 | | | | | | 池山 説郎 |
| | | | | | | | | | | | | | 058 | 科学史・科学論-58 実践的数学史入門 | | | | | | 池山 説郎 |
| | | | | | | | | | | | | | 自然・人間科学系科目 | 1~ | | | | | | 16016512 |
| | | | | 002 | 環境の科学-2 環境リスクの評価と管理 | | | | | | 森 達摩 | | | | | | | | | |
| | | | | 051 | 環境の科学-51 環境問題理解のためのリテラシー | | | | | | 森 達摩 | | | | | | | | | |
| | | | | 052 | 環境の科学-52 環境問題理解のためのリテラシー | | | | | | 原田 英典 | | | | | | | | | |
| | | | | 自然・人間科学系科目 | 1~ | | | | | | 16016750 | | 001 | 自然科学特論-1 【数学】微分方程式入門 | 2 | DDASH | 田 | 春2 | 自然科学特論 科目分野に関わらず1回のみ登録可能。 自然科学特論【数学】 理工学部数理システム学科の卒業必要単位数には含まれない。 | |
| | | | | | | | | | | | | | 002 | 自然科学特論-2 【数学】数学における特別な数 | | | | | | 島田 伸一 |
| | | | | | | | | | | | | | 003 | 自然科学特論-3 【数学】個数計算の方法 | | | | | | 竹山 理 |
| | | | | | | | | | | | | | 004 | 自然科学特論-4 【数学】数学と理工学 | | | | | | 竹山 理 |
| | | | | | | | | | | | | | 005 | 自然科学特論-5 【数学】微分方程式入門 | | | | | | 木村 和広 |
| | | | | 自然・人間科学系科目 | 1~ | | | | | | 16016755 | | 001 | 自然科学特論-1 【科学史・科学論】現代科学史 | 2 | | 田 | 秋2 | 自然科学特論【科学史・科学論】-1-2 先行登録科目である。詳細については『登録要領』を参照。 | |
| | | | | | | | | | | | | | 002 | 自然科学特論-2 【科学史・科学論】現代科学史 | | | | | | 但馬 亨 |
| | | | | | | | | | | | | | 051 | 自然科学特論-51 【科学史・科学論】科学・技術と社会の相関 | | | | | | 中西 敏浩 |
| | | | | | | | | | | | | | 052 | 自然科学特論-52 【科学史・科学論】科学・技術と社会の相関 | | | | | | 市川 浩 |
| | | | | | | | | | | | | | 053 | 自然科学特論-53 【科学史・科学論】科学・技術と社会の相関 | | | | | | 市川 浩 |

※科目区分「自然・人間科学系科目」は、DUET 上では「自然科学系科目」と表示されます。（「心理学1・2」を除く）

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード | | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間時間 | 備考 | | |
|------------|----------|-------------|-------------------|--------------------|---------------|-------------|-----|-------|--|----|---|---|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | | | |
| 自然・人間科学系科目 | 1~ | 16017500 | 001 | 心理学1-1 | 学んで活かす心理学 | 2 | | 小野由莉花 | 田 | 春2 | 心理学1-51・52・53・54・55・56 先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を参照。 | |
| | | | 002 | 心理学1-2 | 心理学とはどんな学問か | | | | | | | 水野 邦夫 |
| | | | 003 | 心理学1-3 | 人間の理解のための心理学 | | | | | | | 森岡 陽介 |
| | | | 004 | 心理学1-4 | 精神活動と行動の原理を知る | | | | | | | 余語 真夫 |
| | | | 051 | 心理学1-51 | 自己理解の心理学 | | | | | | | 稲垣 勉 |
| | | | 052 | 心理学1-52 | 精神活動と行動の原理を知る | | | | | | | 余語 真夫 |
| | | | 053 | 心理学1-53 | 「こころ」の科学 | | | | | | | 谷口 康祐 |
| | | | 054 | 心理学1-54 | 心理学入門1 | | | | | | | 池本真知子 |
| | | | 055 | 心理学1-55 | 心理学入門1 | | | | | | | 池本真知子 |
| | 056 | 心理学1-56 | 心と行動の科学 | 敦賀麻理子 | | | | | | | | |
| | 16017501 | 001 | 心理学2-1 | 人間理解のための心理学 | 木村 晴 | 2 | | 水野 邦夫 | 田 | 秋2 | | 心理学2-51・52・53・54・55・56 先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を参照。 |
| | | 002 | 心理学2-2 | 人間理解の方法 | 森岡 陽介 | | | | | | | |
| | | 003 | 心理学2-3 | 社会生活における心理学 | 余語 真夫 | | | | | | | |
| | | 004 | 心理学2-4 | 社会における心理学 | 余語 真夫 | | | | | | | |
| | | 051 | 心理学2-51 | 心理学入門2 | 稲垣 勉 | | | | | | | |
| | | 052 | 心理学2-52 | 社会における心理学 | 余語 真夫 | | | | | | | |
| | | 053 | 心理学2-53 | 「こころ」の問題との関連 | 谷口 康祐 | | | | | | | |
| | | 054 | 心理学2-54 | 心理学入門2 | 池本真知子 | | | | | | | |
| 055 | | 心理学2-55 | 心理学入門2 | 池本真知子 | | | | | | | | |
| 056 | 心理学2-56 | 人間理解のための心理学 | 敦賀麻理子 | | | | | | | | | |
| 先端複合領域科目 | 1~ | | | 先端領域科目1 | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | | | | 先端領域科目2 | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | | | | 複合領域科目1 | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | | | | 複合領域科目2 | 2 | | 休 講 | | | | | |
| プロジェクト科目 | 2~ | | | プロジェクト科目1 | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | | | | プロジェクト科目2 | 2 | | 休 講 | | | | | |
| 外国語教育科目 | 1~ | 16501013 | ※※※ | コミュニケーション・イングリッシュ1 | 1 | | | | | | | |
| | | 16501014 | ※※※ | コミュニケーション・イングリッシュ2 | 1 | | | | | | | |
| | | 16501023 | ※※※ | アナリティカル・リーディング1 | 1 | | | | | | | |
| | | 16501024 | ※※※ | アナリティカル・リーディング2 | 1 | | | | | | | |
| | 2~ | 16501031 | ※※※ | イングリッシュ・セミナー1 | 1 | | | | | | | |
| | | 16501032 | ※※※ | イングリッシュ・セミナー2 | 1 | | | | | | | |
| | | | | イングリッシュ・セミナー3 | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | | 16501041 | ※※※ | イングリッシュ・ワークショップ1 | 1 | | | | | | | |
| | | 16501042 | ※※※ | イングリッシュ・ワークショップ2 | 1 | | | | | | | |
| | | | | イングリッシュ・ワークショップ3 | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | | | | アカデミック・イングリッシュA | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | | | | アカデミック・イングリッシュB | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | 1・2 | | | プロフェッショナル・イングリッシュA | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | | | | プロフェッショナル・イングリッシュB | 2 | | 休 講 | | | | | |
| | | | | プレ・イングリッシュ・プラクティクム | 4 | | 休 講 | | | | | |
| | | | | イングリッシュ・プラクティクム1 | 4 | | 休 講 | | | | | |
| | 3~ | | | イングリッシュ・プラクティクム2 | 4 | | 休 講 | | | | | |
| | | 16501081 | ※※※ | 言語文化研究1 | 2 | | | | | | | |
| | | 16501082 | ※※※ | 言語文化研究2 | 2 | | | | | | | |
| | | 16501051 | ※※※ | 現代地域事情・上級講読(英語圏)1 | 2 | | | | | | | |
| 1~ | 16501052 | ※※※ | 現代地域事情・上級講読(英語圏)2 | 2 | | | | | | | | |
| | 16509001 | ※※※ | サマープログラム・英語A | 4 | | | | 春集中 | サマープログラム・英語A サマープログラム・英語B 再修生で9月卒業予定者は登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。 | | | |
| | 16509002 | ※※※ | サマープログラム・英語B | 3 | | | | 春集中 | | | | |
| | | | サマープログラム・英語C | 2 | | 休 講 | | | | | | |
| 2~ | | | スプリングプログラム・英語A | 4 | | | | | | | | |
| | | | スプリングプログラム・英語B | 3 | | | | | | | | |
| | | | スプリングプログラム・英語C | 2 | | | | | | | | |
| | | | スプリングプログラム・英語D | 1 | | 休 講 | | | | | | |

15-13年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然・人間
科学系科目

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

※「心理学1・2」の科目区分「自然・人間科学系科目」は、DUET上では「人間科学系科目(保健体育科目以外)」と表示されます。

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード | | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間時間 | 備考 |
|----------------|------|----------|--------|---|----|-------------|-----|-----|--|--|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | |
| 同志社科目 | 2~ | 16509081 | *** | セメスタープログラム・英語 I | 4 | | | | 秋集中 | セメスタープログラム・英語 I セメスタープログラム・英語 II 詳細は『登録要領』を参照。 |
| | | 16509082 | *** | セメスタープログラム・英語 II | 4 | | | | 秋集中 | |
| キャリア形成 支援科目 | 1~ | | | Intensive Courses for TOEFL(Practice) | 1 | | 休講 | | | Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 Study Abroad Preparation (IELTS) 1 Study Abroad Preparation (IELTS) 2 2015年度生の科目である。 |
| | | | | Intensive Courses for TOEFL(Tutorial) | 1 | | 休講 | | | |
| | | 16501181 | *** | Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1 | 2 | | | | | |
| | | 16501182 | *** | Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2 | 2 | | | | | |
| | | 16501191 | *** | Study Abroad Preparation (IELTS) 1 | 2 | | | | | |
| | | 16501192 | *** | Study Abroad Preparation (IELTS) 2 | 2 | | | | | |
| 国際教養科目 | 1~ | 16502011 | *** | ドイツ語入門 I | 2 | | | | | |
| | | 16502012 | *** | ドイツ語入門 II | 2 | | | | | |
| 国際教養科目 | 2~ | 16502031 | *** | ドイツ語応用 I | 1 | | | | | |
| | | 16502032 | *** | ドイツ語応用 2 | 1 | | | | | |
| | | 16502033 | *** | ドイツ語応用 3 | 1 | | | | | |
| | | 16502034 | *** | ドイツ語応用 4 | 1 | | | | | |
| 人文科学系科目 | 1~ | 16502021 | *** | ドイツ語インテンシヴ I | 3 | | | | | |
| | | 16502022 | *** | ドイツ語インテンシヴ II | 3 | | | | | |
| 人文科学系科目 | 2~ | 16502023 | *** | ドイツ語インテンシヴ III | 3 | | | | | |
| | | 16502024 | *** | ドイツ語インテンシヴ IV | 3 | | | | | |
| 社会科学系科目 | 3~ | 16502025 | *** | ドイツ語インテンシヴ V | 2 | | | | | |
| | | 16502026 | *** | ドイツ語インテンシヴ VI | 2 | | | | | |
| | | 16502051 | *** | ドイツ語文化事情 I | 2 | | | | | |
| | | 16502052 | *** | ドイツ語文化事情 2 | 2 | | | | | |
| | | 16502061 | *** | ドイツ語表現法 I | 2 | | | | | |
| | | 16502062 | *** | ドイツ語表現法 2 | 2 | | | | | |
| 社会科学系科目 | 3~ | 16502071 | *** | 言語文化原典演習 (ドイツ語) I | 2 | | | | | |
| | | 16502072 | *** | 言語文化原典演習 (ドイツ語) 2 | 2 | | | | | |
| | | 16502081 | *** | 現代地域事情・上級講読 (ドイツ語圏) I | 2 | | | | | |
| | | 16502082 | *** | 現代地域事情・上級講読 (ドイツ語圏) 2 | 2 | | | | | |
| 自然・人間 科学系科目 | 2~ | | | サマープログラム・ドイツ語 A | 4 | | 休講 | | | |
| | | 16502093 | | サマープログラム・ドイツ語 B | 3 | | | 春集中 | サマープログラム・ドイツ語 B 再修生で9月卒業予定者は 登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。 | |
| 先端・複合 領域科目 | 2~ | | | スプリングプログラム・ドイツ語 | 3 | | | | | |
| | | 16502101 | | セメスタープログラム・ドイツ語 I | 4 | | | 春集中 | セメスタープログラム・ドイツ語 I | |
| 先端・複合 領域科目 | 2~ | 16502102 | | セメスタープログラム・ドイツ語 II | 4 | | | 春集中 | セメスタープログラム・ドイツ語 II 授業は同志社大学チュービゲン EUキャンパスで実施する。 詳細は『登録要領』を参照。 | |
| | | 16502041 | *** | ドイツ語会話初級 1 | 1 | | | | | |
| プロジェクト 科目 | 1~ | 16502042 | *** | ドイツ語会話初級 2 | 1 | | | | | |
| | | 16502043 | *** | ドイツ語会話中級 1 | 1 | | | | | |
| | | 16502044 | *** | ドイツ語会話中級 2 | 1 | | | | | |
| | | 16502045 | *** | ドイツ語会話上級 1 | 1 | | | | | |
| | | 16502046 | *** | ドイツ語会話上級 2 | 1 | | | | | |
| | | 16503011 | *** | フランス語入門 I | 2 | | | | | |
| 外国語教育科目 | 2~ | 16503012 | *** | フランス語入門 II | 2 | | | | | |
| | | 16503031 | *** | フランス語応用 I | 1 | | | | | |
| | | 16503032 | *** | フランス語応用 2 | 1 | | | | | |
| | | 16503033 | *** | フランス語応用 3 | 1 | | | | | |
| | | 16503034 | *** | フランス語応用 4 | 1 | | | | | |
| 保健体育科目 | 1~ | 16503021 | *** | フランス語インテンシヴ I | 3 | | | | | |
| | | 16503022 | *** | フランス語インテンシヴ II | 3 | | | | | |
| 保健体育科目 | 2~ | 16503023 | *** | フランス語インテンシヴ III | 3 | | | | | |
| | | 16503024 | *** | フランス語インテンシヴ IV | 3 | | | | | |
| 保健体育科目 | 3~ | 16503025 | *** | フランス語インテンシヴ V | 2 | | | | | |
| | | 16503026 | *** | フランス語インテンシヴ VI | 2 | | | | | |
| 保健体育科目 | 4 | 16503027 | *** | フランス語インテンシヴ VII | 2 | | | | | |
| | | 16503028 | *** | フランス語インテンシヴ VIII | 2 | | | | | |

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード | | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育プログラム構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間時間 | 備考 |
|----------|----------|----------|--------|----------------------|------------------|-------------|-----|----|------|--|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | |
| 外国語教育科目 | 3~ | 16503051 | *** | フランス語文化事情Ⅰ | 2 | | | | | サマープログラム・フランス語 再修生で9月卒業予定者は登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。 |
| | | 16503052 | *** | フランス語文化事情Ⅱ | 2 | | | | | |
| | | 16503061 | *** | フランス語表現法Ⅰ | 2 | | | | | |
| | | 16503062 | *** | フランス語表現法Ⅱ | 2 | | | | | |
| | | 16503071 | *** | 言語文化原典演習(フランス語)Ⅰ | 2 | | | | | |
| | | 16503072 | *** | 言語文化原典演習(フランス語)Ⅱ | 2 | | | | | |
| | | 16503081 | *** | 現代地域事情・上級講読(フランス語圏)Ⅰ | 2 | | | | | |
| | | 16503082 | *** | 現代地域事情・上級講読(フランス語圏)Ⅱ | 2 | | | | | |
| | 2~ | 16503091 | | | サマープログラム・フランス語 | 4 | | | 春集中 | |
| | 2~ | | | | スプリングプログラム・フランス語 | 3 | | | | |
| | 1~ | 16503041 | *** | | フランス語会話初級Ⅰ | 1 | | | | |
| | | 16503042 | *** | | フランス語会話初級Ⅱ | 1 | | | | |
| | | 16503043 | *** | | フランス語会話中級Ⅰ | 1 | | | | |
| | | 16503044 | *** | | フランス語会話中級Ⅱ | 1 | | | | |
| | | 16503045 | *** | | フランス語会話上級Ⅰ | 1 | | | | |
| | | 16503046 | *** | | フランス語会話上級Ⅱ | 1 | | | | |
| | 1~ | 16504011 | *** | | 中国語入門Ⅰ | 2 | | | | |
| | | 16504012 | *** | | 中国語入門Ⅱ | 2 | | | | |
| | 2~ | 16504031 | *** | | 中国語応用Ⅰ | 1 | | | | |
| | | 16504032 | *** | | 中国語応用Ⅱ | 1 | | | | |
| | | 16504033 | *** | | 中国語応用Ⅲ | 1 | | | | |
| | | 16504034 | *** | | 中国語応用Ⅳ | 1 | | | | |
| | 1~ | 16504021 | *** | | 中国語インテンシヴⅠ | 3 | | | | |
| | | 16504022 | *** | | 中国語インテンシヴⅡ | 3 | | | | |
| | 2~ | 16504023 | *** | | 中国語インテンシヴⅢ | 3 | | | | |
| | | 16504024 | *** | | 中国語インテンシヴⅣ | 3 | | | | |
| | 3~ | 16504025 | *** | | 中国語インテンシヴⅤ | 2 | | | | |
| | | 16504026 | *** | | 中国語インテンシヴⅥ | 2 | | | | |
| | 4 | 16504027 | *** | | 中国語インテンシヴⅦ | 2 | | | | |
| | | 16504028 | *** | | 中国語インテンシヴⅧ | 2 | | | | |
| | 3~ | 16504051 | *** | | 中国語文化事情Ⅰ | 2 | | | | |
| | | 16504052 | *** | | 中国語文化事情Ⅱ | 2 | | | | |
| | | 16504061 | *** | | 中国語表現法Ⅰ | 2 | | | | |
| | | 16504062 | *** | | 中国語表現法Ⅱ | 2 | | | | |
| 16504071 | | *** | | 言語文化原典演習(中国語)Ⅰ | 2 | | | | | |
| 16504072 | | *** | | 言語文化原典演習(中国語)Ⅱ | 2 | | | | | |
| 16504081 | | *** | | 現代地域事情・上級講読(中国語圏)Ⅰ | 2 | | | | | |
| 16504082 | | *** | | 現代地域事情・上級講読(中国語圏)Ⅱ | 2 | | | | | |
| 2~ | | | | サマープログラム・中国語 | 4 | | 休講 | | | |
| 2~ | | | | スプリングプログラム・中国語 | 1 | | | | | |
| 2~ | 16504041 | *** | | 中国語会話初級Ⅰ | 1 | | | | | |
| | 16504042 | *** | | 中国語会話初級Ⅱ | 1 | | | | | |
| | 16504043 | *** | | 中国語会話中級Ⅰ | 1 | | | | | |
| | 16504044 | *** | | 中国語会話中級Ⅱ | 1 | | | | | |
| | 16504045 | *** | | 中国語会話上級Ⅰ | 1 | | | | | |
| | 16504046 | *** | | 中国語会話上級Ⅱ | 1 | | | | | |
| 1~ | 16505011 | *** | | スペイン語入門Ⅰ | 2 | | | | | |
| | 16505012 | *** | | スペイン語入門Ⅱ | 2 | | | | | |
| 2~ | 16505031 | *** | | スペイン語応用Ⅰ | 1 | | | | | |
| | 16505032 | *** | | スペイン語応用Ⅱ | 1 | | | | | |
| | 16505033 | *** | | スペイン語応用Ⅲ | 1 | | | | | |
| | 16505034 | *** | | スペイン語応用Ⅳ | 1 | | | | | |
| 1~ | 16505021 | *** | | スペイン語インテンシヴⅠ | 3 | | | | | |
| | 16505022 | *** | | スペイン語インテンシヴⅡ | 3 | | | | | |
| 2~ | 16505023 | *** | | スペイン語インテンシヴⅢ | 3 | | | | | |
| | 16505024 | *** | | スペイン語インテンシヴⅣ | 3 | | | | | |

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

| 科目区分 | 配当年次 | 登録コード | | 科目名-クラス | サブタイトル | 単位 | 教育プログラム構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間時間 | 備考 |
|-------------------------|----------|----------|-----------------------|------------------------|--------|----|-------------|-----|----|------|--|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | | |
| 同志社科目 キャリア形成 支援科目 | 3~ | 16505025 | ※※※ | スペイン語インテンシヴV | | 2 | | | | | |
| | | 16505026 | ※※※ | スペイン語インテンシヴVI | | 2 | | | | | |
| | | 16505051 | ※※※ | スペイン語文化事情 I | | 2 | | | | | |
| | | 16505052 | ※※※ | スペイン語文化事情 2 | | 2 | | | | | |
| | | 16505061 | ※※※ | スペイン語表現法 I | | 2 | | | | | |
| | | 16505062 | ※※※ | スペイン語表現法 2 | | 2 | | | | | |
| | | 16505071 | ※※※ | 言語文化原典演習 (スペイン語) I | | 2 | | | | | |
| | | 16505072 | ※※※ | 言語文化原典演習 (スペイン語) 2 | | 2 | | | | | |
| | | 16505081 | ※※※ | 現代地域事情・上級講読 (スペイン語圏) I | | 2 | | | | | |
| | | 16505082 | ※※※ | 現代地域事情・上級講読 (スペイン語圏) 2 | | 2 | | | | | |
| 国際教養科目 | 2~ | 16505091 | | サマープログラム・スペイン語 | | 4 | | | | 春集中 | サマープログラム・スペイン語 再修生で9月卒業予定者は 登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。 |
| | 2~ | | | スプリングプログラム・スペイン語 | | 1 | | 休講 | | | |
| | 2~ | | | スプリングプログラム・スペイン語C | | 2 | | 休講 | | | |
| 人文科学系科目 | 1~ | 16505041 | ※※※ | スペイン語会話初級 I | | 1 | | | | | |
| | | 16505042 | ※※※ | スペイン語会話初級 2 | | 1 | | | | | |
| | | 16505043 | ※※※ | スペイン語会話中級 I | | 1 | | | | | |
| | | 16505044 | ※※※ | スペイン語会話中級 2 | | 1 | | | | | |
| | | 16505045 | ※※※ | スペイン語会話上級 I | | 1 | | | | | |
| | | 16505046 | ※※※ | スペイン語会話上級 2 | | 1 | | | | | |
| | 1~ | 16506011 | ※※※ | ロシア語入門 I | | 2 | | | | | |
| | | 16506012 | ※※※ | ロシア語入門 II | | 2 | | | | | |
| | | 16506031 | ※※※ | ロシア語応用 I | | 1 | | | | | |
| | | 16506032 | ※※※ | ロシア語応用 2 | | 1 | | | | | |
| 2~ | 16506033 | ※※※ | ロシア語応用 3 | | 1 | | | | | | |
| | 16506034 | ※※※ | ロシア語応用 4 | | 1 | | | | | | |
| 1~ | 16506021 | ※※※ | ロシア語インテンシヴ I | | 3 | | | | | | |
| | 16506022 | ※※※ | ロシア語インテンシヴ II | | 3 | | | | | | |
| 2~ | 16506023 | ※※※ | ロシア語インテンシヴ III | | 3 | | | | | | |
| | 16506024 | ※※※ | ロシア語インテンシヴ IV | | 3 | | | | | | |
| 3~ | 16506051 | ※※※ | ロシア語文化事情 I | | 2 | | | | | | |
| | 16506052 | ※※※ | ロシア語文化事情 2 | | 2 | | | | | | |
| | 16506061 | ※※※ | ロシア語表現法 I | | 2 | | | | | | |
| | 16506062 | ※※※ | ロシア語表現法 2 | | 2 | | | | | | |
| | 16506071 | ※※※ | 言語文化原典演習 (ロシア語) I | | 2 | | | | | | |
| | 16506072 | ※※※ | 言語文化原典演習 (ロシア語) 2 | | 2 | | | | | | |
| | 16506081 | ※※※ | 現代地域事情・上級講読 (ロシア語圏) I | | 2 | | | | | | |
| | 16506082 | ※※※ | 現代地域事情・上級講読 (ロシア語圏) 2 | | 2 | | | | | | |
| 2~ | | | サマープログラム・ロシア語 | | 4 | | 休講 | | | | |
| 1~ | 16506041 | ※※※ | ロシア語会話初級 I | | 1 | | | | | | |
| | 16506042 | ※※※ | ロシア語会話初級 2 | | 1 | | | | | | |
| | 16506043 | ※※※ | ロシア語会話中級 I | | 1 | | | | | | |
| | 16506044 | ※※※ | ロシア語会話中級 2 | | 1 | | | | | | |
| | 16506045 | ※※※ | ロシア語会話上級 I | | 1 | | | | | | |
| | 16506046 | ※※※ | ロシア語会話上級 2 | | 1 | | | | | | |
| 1~ | 16507011 | ※※※ | ロシア語入門 I | | 2 | | | | | | |
| | 16507012 | ※※※ | ロシア語入門 II | | 2 | | | | | | |
| 2~ | 16507031 | ※※※ | ロシア語応用 I | | 1 | | | | | | |
| | 16507032 | ※※※ | ロシア語応用 2 | | 1 | | | | | | |
| | 16507033 | ※※※ | ロシア語応用 3 | | 1 | | | | | | |
| | 16507034 | ※※※ | ロシア語応用 4 | | 1 | | | | | | |
| 1~ | 16507021 | ※※※ | ロシア語インテンシヴ I | | 3 | | | | | | |
| | 16507022 | ※※※ | ロシア語インテンシヴ II | | 3 | | | | | | |
| 2~ | 16507023 | ※※※ | ロシア語インテンシヴ III | | 3 | | | | | | |
| | 16507024 | ※※※ | ロシア語インテンシヴ IV | | 3 | | | | | | |

| 科目 区分 | 配当 年次 | 登録コード | | 科目名-クラス サブタイトル | 単 位 | 教育 プログラム 構成科目 | 担 当 者 | 校 地 | 期 間 時 間 | 備 考 |
|---------------------------------|----------|----------|----------|---------------------|--------|---------------------|-------------|--------|------------------|---|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | |
| 外 国 語 教 育 科 目 | 3~ | 16507025 | *** | コリア語インテンシヴV | 2 | | | | | サマープログラム・コリア語 再修生で9月卒業予定者は 登録できない。 詳細は『登録要領』を参照。 |
| | | 16507026 | *** | コリア語インテンシヴVI | 2 | | | | | |
| | | 16507051 | *** | コリア語文化事情Ⅰ | 2 | | | | | |
| | | 16507052 | *** | コリア語文化事情Ⅱ | 2 | | | | | |
| | | 16507061 | *** | コリア語表現法Ⅰ | 2 | | | | | |
| | | 16507062 | *** | コリア語表現法Ⅱ | 2 | | | | | |
| | | 16507071 | *** | 言語文化原典演習(コリア語)Ⅰ | 2 | | | | | |
| | | 16507072 | *** | 言語文化原典演習(コリア語)Ⅱ | 2 | | | | | |
| | | 16507081 | *** | 現代地域事情・上級講読(コリア語圏)Ⅰ | 2 | | | | | |
| | | 16507082 | *** | 現代地域事情・上級講読(コリア語圏)Ⅱ | 2 | | | | | |
| | 2~ | 16507091 | | サマープログラム・コリア語 | 3 | | | | 春集中 | |
| | 2~ | | | スプリングプログラム・コリア語 | 3 | | | | | |
| | 1~ | 16507041 | *** | コリア語会話初級Ⅰ | 1 | | | | | |
| | | 16507042 | *** | コリア語会話初級Ⅱ | 1 | | | | | |
| | | 16507043 | *** | コリア語会話中級Ⅰ | 1 | | | | | |
| | | 16507044 | *** | コリア語会話中級Ⅱ | 1 | | | | | |
| | | 16507045 | *** | コリア語会話上級Ⅰ | 1 | | | | | |
| | | 16507046 | *** | コリア語会話上級Ⅱ | 1 | | | | | |
| | 2~ | 16508001 | *** | 基礎イタリア語Ⅰ | 1 | | | | | |
| | | 16508002 | *** | 基礎イタリア語Ⅱ | 1 | | | | | |
| 3~ | 16508003 | *** | 基礎イタリア語Ⅲ | 1 | | | | | | |
| | 16508004 | *** | 基礎イタリア語Ⅳ | 1 | | | | | | |

15-13年度生

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然科学系科目
自然・人間

領域科目
先端・複合

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

| 科目 区分 | 配当 年次 | 登録コード | | 科目名-クラス サブタイトル | 単位 | 教育 プログラム 構成科目 | 担当者 | 校地 | 期間 時間 | 備 考 |
|-----------------------------|----------|----------|--------|----------------|----|---------------------|-----|----|----------|---|
| | | 科目コード | クラスコード | | | | | | | |
| 同志社科目 キャリア形成 支援科目 | 1~ | | | 健康の科学 | 2 | | 休 講 | | | ※注1 スポーツ・パフォーマンスI 先行登録科目である。クラス、 種目、曜日講時、担当者 等は『登録要領』を参照。 |
| | | | | スポーツの科学 | 2 | | 休 講 | | | |
| | | | | スポーツと健康 | 2 | | 休 講 | | | |
| | | | | トレーニングの科学 | 2 | | 休 講 | | | |
| | | | | スポーツの文化 | 2 | | 休 講 | | | |
| | | | | スポーツのマネジメント | 2 | | 休 講 | | | |
| | | | | スポーツの心理 | 2 | | 休 講 | | | |
| | | 16601018 | ※※※ | スポーツ・パフォーマンスI | 1 | | ※注1 | | | |

同志社科目

キャリア形成
支援科目

国際教養科目

人文科学系科目

社会科学系科目

自然・人間
科学系科目

先端・複合
領域科目

プロジェクト
科目

外国語教育科目

保健体育科目

※科目区分「保健体育科目」は、DUET 上では「人間科学系科目（保健体育科目）」と表示されます。

全学共通教養教育カリキュラム・ポリシー

- 同志社大学の建学の精神である「良心教育」をさらに発展させることを目的として、「キリスト教主義」、「自由主義（自治自立の精神）」、「国際主義」という3つの教育理念に基づき、知・徳・体すべてにわたる豊かな人間性と21世紀型市民にふさわしい幅広い教養を有する人物を育成するために、「同志社科目」、「キャリア形成支援科目」、「プロジェクト科目」、「国際教養科目」、「外国語教育科目」、「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然・人間科学系科目」、「先端・複合領域科目」、「保健体育科目」という10の科目区分を全学共通教養教育科目として設置する。上記10科目区分のうち、「同志社科目」は「同志社科目群」、「キャリア形成支援科目」と「プロジェクト科目」は「キャリア形成支援科目群」、「国際教養科目」と「外国語教育科目」は「国際教養科目群」を構成し、学生が体系性と順次性を自覚しながら、それぞれの教育内容を効果的に履修できるように配慮されている。卒業要件における履修単位数あるいは必修科目等については、各学部のカリキュラム・ポリシーに従って別途定められる。

- 文理を問わず、デジタル社会の基礎知識である「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能を身に付け、各自の専門分野での学修や社会生活においてこれらを道具として活用し、新たな価値を創造できる人物の養成を目的として、「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(DDASH)」を設置する。
 「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」においては、「データを読む、説明する、扱う」といった基本スキルを身に付けるとともに、社会の変化、社会におけるデータ・AIの活用領域と利活用例、利活用におけるさまざまな留意事項を理解できるように、プログラムが構成されている。
 「同志社データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」においては、リテラシーレベルの教育を補完的・発展的に学ぶことで、データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力や、AIを活用し課題解決につながる基礎能力を修得し、自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための大局的な視点を獲得できるように、プログラムが構成されている。
 ※2015年度生のみ

- 「同志社科目群」を構成する「同志社科目」は、長い歴史と豊かな伝統を有する本学に関する総合的理解を深めて、＜学びの共同体＞に対する主体的な帰属意識を涵養することを到達目標とする。講義に学内施設見学・行事参加などを随時組み合わせた授業をとおして、建学の精神である「良心教育」の基本を学ぶ「基礎科目」と、講義に学内施設見学・行事参加などを随時組み合わせた授業をとおして、教育理念のひとつである「キリスト教主義」に対する理解を深める「展開科目」に分類される。

- 「キャリア形成支援科目群」を構成する「キャリア形成支援科目」は、教育理念のひとつである「自由主義（自治自立の精神）」の具体的実現を目指して、社会的自立及び職業的自立の重要性を理解することを到達目標とする。講義授業をとおして、キャリア形成の基本的事項を学ぶ「基礎科目」と、講義にインターンシップあるいは社会見学などを随時組み合わせた授業をとおして、キャリア形成の実践的知識を学ぶ「展開科目」に分類される。

- 「キャリア形成支援科目群」を構成する「プロジェクト科目」は、教育理念のひとつである「自由主義（自治自立の精神）」の具体的実現を目指して、特定のプロジェクトの実現を目指すPBL (Project-Based Learning) と呼ばれるプロジェクト学習授業をとおして、社会的自立を実現するために不可欠な課題発見能力及び問題解決能力等によって形成される「プロジェクト・リテラシー」を向上させることを到達目標とする。

- 「国際教養科目群」を構成する「国際教養科目」は、教育理念のひとつである「国際主義」の具体的実現を目指して、国際的通用性を有する豊かな教養を習得することを到達目標とする。講義授業をとおして、異文化理解に関する基本的事項を学ぶ「基礎科目」と、講義あるいは演習授業をとおして、異文化と国際社会に関する高度な知識を学ぶ「展開科目」に分類される。

- 「国際教養科目群」を構成する「外国語教育科目」は、教育理念のひとつである「国際主義」の具体的実現を目指して、国際的通用性を有する外国語運用能力と現代国際社会に関する適切な知識を習得することを到達目標とする。「外国語教育科目」が扱う外国語は、現代国際社会で活躍するために必須の英語と、現代国際社会で活躍するために重要なドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、韓国語の初修外国語とする。教育課程の体系性と順次性に留意した演習授業をとおして、学習者の関心と習熟度に合わせて外国語運用能力を向上させる「基礎科目」と、海外留学や受入留学生との交流活動をとおして、現代国際社会に関する適切な理解を体験的に深めつつ、外国語運用能力を実践的に向上させる「留学関連科目」に分類される。なお、現代国際社会における語学的関心の多様化を奨励するために、兼修外国語として、イタリア語の基礎を学ぶ科目も「基礎科目」として設置する。

- 「人文科学系科目」は、講義授業をとおして、人文科学系学問を全学共通科目として学ぶことによって、21世紀型市民にふさわしい幅広い教養を習得することを到達目標とする。

- 「社会科学系科目」は、講義授業をとおして、社会科学系学問を全学共通科目として学ぶことによって、21世紀型市民にふさわしい幅広い教養を習得することを到達目標とする。

- 「自然・人間科学系科目」は、講義授業をとおして、自然・人間科学系学問を全学共通科目として学ぶことによって、21世紀型市民にふさわしい幅広い教養を習得することを到達目標とする。

- 「先端・複合領域科目」のうち「先端領域科目」は、講義授業をとおして、現代の科学技術及び人文社会分野の最先端を行く研究の知識を獲得し方法論を学ぶことによって、21世紀型市民にふさわしい、先進性を追求する学問的態度と独創性を重んじる知的指向性を育成することを到達目標とする。「複合領域科目」は、講義授業をとおして、既成の学問を超えて現代社会の課題を発見し、その解決策を主体的に考えることによって、21世紀型市民にふさわしい学際的な学問的態度と創造的な知的指向性を育成することを到達目標とする。

- 「保健体育科目」は、実習授業及び講義授業をとおして、スポーツと健康に関して体験的かつ科学的に理解することの重要性を学ぶことによって、知・徳・体すべてにわたる豊かな人間性を涵養することを到達目標とする。

発行

同志社大学 全学共通教養教育センター
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL 075-251-3325

URL <https://cgle.doshisha.ac.jp/cgle/>

同志社大学 京田辺校地教務課
〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

TEL 0774-65-7053

2025年4月1日